



高文連

第24号



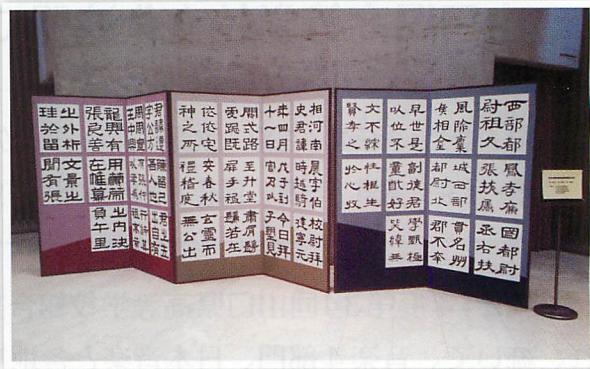
山口県高等学校文化連盟

山口県高等学校文化連盟には16の専門部会があります

演劇 / 器楽・管弦楽 / 合唱 / 吹奏楽 / マーチングバンド・バトントワリング / 日本音楽 / 吟詠剣詩舞 / 美術・工芸 / 書道 / 写真 / 圧碁 / 将棋 / 放送 / 文芸 / 自然科学 / 小倉百人一首かるた

平成24年度第34回山口県高等学校総合文化祭総合開会式は、山口市民館を会場に行われ、続いて、音楽4部門、日本音楽と各地で県総文祭が開催されました。





下関中等教育学校・東 純一



青嶺高校・山根 瑶子



下関南高校・中本 千尋



岩国工業高校・宮本 駿



岩国高校・石田奈緒美



豊浦高校・木村智恵子

高
速

第 24 号

もくじ

ごあいさつ	1
第34回山口県高等学校総合文化祭総合開会式（音楽4部門発表会）の報告	2
第34回山口県高等学校総合文化祭展示3部門の報告	6
各部門の報告	
器楽・管弦楽部門	10
合唱部門	12
吹奏楽部門	14
美術・工芸部門	16
書道部門	18
写真部門	20
日本音楽部門	22
囲碁部門	24
演劇部門	26
放送部門	28
将棋部門	30
文芸専門部門	32
マーチングバンド・バトントワリング部門	34
自然科学部門	35
小倉百人一首かるた部門	35
全国高等学校総合文化祭に参加して～この体験を忘れない～	36
自主事業・補助事業の報告	37
第24回全国高等学校文化連盟研究大会概要報告	44

参考資料

平成24年度 山口県高等学校文化連盟 事業報告	48
平成24年度 山口県高等学校文化連盟会計決算書	49
平成24年度 山口県高等学校文化連盟特別会計決算書	50
平成25年度 山口県高等学校文化連盟 事業計画	51
平成25年度 山口県高等学校文化連盟会計予算書・調整基金会計予算書	52
山口県高等学校文化連盟規約	53
山口県高等学校文化連盟諸規程	57
山口県高等学校文化連盟表彰規程	58
山口県高等学校文化連盟旅費支給基準	60
平成24・25年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧	61
全国高文連の歌	63



ごあいさつ

山口県高等学校文化連盟

会長 松井 誠

本連盟は昭和62年6月に発足し、今年度で26年目になります。専門部数は全国大会に出場した小倉百人一首かるた部を含めると15、加盟校87校、加盟人数36,299人です。県内外のさまざまな活動を通して、高校生の創造活動がますます向上・充実し、文化活動が盛んになっていることを喜んでいます。

さて、県内高校生の芸術文化の祭典として始まった山口県高等学校総合文化祭も今年で34回目を迎え、総合開会式を山口市民会館大ホールにおいて盛大に開催いたしました。「つなごう 文化の絆を 進もう 創造の世界へ」をテーマに、総合文化祭への参加を通じ、高校生が地域の人々と交流したり、それぞれの分野の専門家と連携したりして、豊かな心や創造性をはぐくみ、活動の幅を広げるきっかけになりました。5月26日に行われた将棋専門部の大会を皮切りに、11月16日から3日間開催された展示3部門（美術・工芸、書道、写真）まで、各専門部による大会やコンクール等が7ヶ月にわたり県内各地で行われました。県総合文化祭が円滑に運営できたのも、校長先生や日頃から高校生の活動を支えておられる顧問の先生方をはじめ関係の皆様の御理解・御支援の賜と深く感謝申し上げます。

また、本連盟では、高校生が優れた文化や芸術に直接ふれ合い感性を高めることを目的に、自主文化事業や補助事業を企画・開催しております。自主事業では、今年度は音楽や演劇など7つの公演を県内各校で行い、感動を共有し盛況のうちに終了することができました。演奏会後には部活動指導も行われ、高校生の技術・技量を高める機会も設けて、好評をいただいております。

次に、第36回全国高等学校総合文化祭は富山県で8月8日から5日間行われました。インターハイのブロック開催地区と重なり、変則的な日程となりましたが、山口県からは12部門175名の代表生徒が参加しました。持てる力を十二分に発揮しましたが、入賞まで惜しくもいま一歩で、来年度の長崎大会に期待したいと思います。

さて、昨年12月には、高校の文化活動の振興と発展を目的とする、第24回全国高等学校文化連盟研究大会（山口大会）が本連盟が主管として、海峡メッセ下関で開催されました。全国から高文連に係わる関係者が約200名参加し、山口、島根、岡山3県の先生から学校や高文連での取組に関する発表・研究協議が行われました。長門市出身の童謡詩人、金子みすゞにちなみ、山口市の歌手・作曲家のちひろさんのコンサートや金子みすゞ記念館の矢崎節夫館長による講演も行われ、好評を博しました。

本連盟では、県高校総合文化祭総合開会式及び音楽4部門発表会を県内全加盟校の御協力により7地区が輪番で実施しておりますが、生徒や学校数の減少により再検討する時期になりました。形態は変わっても、郷土文化の理解と伝承を図り、一人でも多くの生徒が優れた芸術文化活動に接する機会をつくりながら、高校生の文化芸術活動の育成と活性化に向けて更に努力を続けて参る所存です。

終わりに、県高文連の活動に御支援・御協力を賜りました関係各位に心から感謝し、厚くお礼申し上げまして、発刊のごあいさつといたします。

第34回 山口県高等学校総合文化祭

総合開会式（音楽4部門発表会）の報告

主管校 中 川 聰
(山口高校教諭)

「前回、前々回は、どちらも防府市内の高校が主管校を引受けたので今回は山口高校主管で。」

高文連からの主管校引受け要請に対し、本校が正式に受諾したのは平成23年3月末であった。

直ちに校内準備委員会を発足し「予算、規模ともに削減」という高文連の意向を基に、総合開会式の原案作りに取りかかった。

最初の仕事は会場予約であったが、高文連が指定した平成24年6月第3週に3日連続で山口市民会館が予約できなかったので、高文連と相談の上、同会場では総合開会式のみ実施し、続いて行われる音楽4部門発表会の会場は、防府市公会堂とさせていただいた。

総合開会式の原案は、本校の芸術科（音楽、美術、書道）教諭3人で作成した。その際、過去5年間の主管校から引き継がれた以下の問題点の解消を目指とした。

- ・主管校の負担が大き過ぎる。
- ・主担当者の仕事量が多過ぎる。
- ・総合開会式の規模が大き過ぎる。
- ・文書・会計事務が肥大化している。
- ・慶祝演奏の出演依頼が特定の部に集中する。
- ・役員教員・生徒の総数が多過ぎ、授業が実施できない。
- ・リハーサルを含め生徒拘束時間が長過ぎ、身体的な負担がある。
- ・いろいろな部門が混在する音楽部門は、主管校の一般教員では舞台進行が困難。
- ・市への補助金要請は不要。手続きから当日の接待に至るまでそのための仕事量が増大する。
- ・予算削減（←高文連からの要望）



吹奏楽部門



マーチング部門



器楽・管弦楽 合唱部門



各専門部の紹介



主催者



御来賓及び表彰者

このうち、「展示部門は開催しない」という高文連からの要請については、その理由が予算削減であったので、運営の工夫で乗り切れるのではないかと展示部門開催を再提案することにした。その他諸々の事項を勘案の上、掲げた努力目標は、次のとおりである。

- ・業務の再確認による主管校の負担軽減
- ・会議開催数の再確認による旅費削減
- ・役員教員・生徒数の再検討による担当地区の授業時間確保
- ・毎年開会式に出演している部の負担軽減
- ・受入地区の特色に応じた総合開会式開催の工夫
- ・関係者によるスムースな舞台運営（音楽4部門発表会）
- ・必要経費の見直しによる予算の削減

平成23年7月第1週に行われた光高校主管の県総文の反省会において作成した原案を提示した。しかし、まずは各部門理事長による方向性の確認が必要ということで、原案は一旦白紙に戻った。以下、そのときに提出した原案要旨を記述する。

- ①予算削減のため、総合開会式の簡素化を図り、できるだけ山防地区生徒を中心に行う。
- ②原案にはなかった慶祝展示を復活させる代わりに、これまでの3日間展示は1日のみとする。
- ※③主管校の負担軽減のため、主管校担当を初日のみとし、音楽4部門発表会は音楽関係者で行う。
（※…大規模校以外では、主管校としての開催が困難と以前から指摘されていた項目）

A 数年前に実施された同規模主管校との比較

総合開会式+音楽4部門発表会	授業カット（のべ）	地区役員数（のべ）	主管校役員数（のべ）	支出総額（円）
第〇〇回	179時間	教員103名 生徒224名	教員94名 生徒386名	2,921,159
第34回	24時間	教員 56名 生徒222名	教員52名 生徒225名	1,005,861

その後、平成23年8月および11月の高文連理事長会議において、以下の決定がなされた。

- ①総合開会式への参加生徒の形態については、音楽4部門で再検討する。
- ②慶祝展示はしない。
- ③については、原案を山防地区音楽関係者会議において審議する。

③について、山防地区的先生方は本当によく協力してくださった。②について、展示各部門は中止とされた。①について、吹奏楽部門は、地区の強い意向によりこれまで通り地区の合同バンドによる演奏、マーチング部門も従来通り、合唱部門も従来通り県内各地からの参加となつたが、器楽・管弦楽部門だけは、当初の「予算削減のため総合開会式は地区内で」という方針を堅持してくださった学校が最終的に不参加となつた。

総合開会式は、ほぼ従来のプログラムに展示部門の参加がない形で行われた。慶祝演奏への参加校は、別表のとおりである。一部の部門から御心配いただいた山防地区的関係者主体による音楽4部門発表会の運営は、山防地区的先生方および、参加各校の生徒や顧問の先生方の御協力のもと、無事終了することができた。

以下、参考資料としてA数年前に実施された同規模主管校との比較 B総合開会式要項 C具体的な改善事項 D慶祝演奏参加者数 E主管校および地区役員への事後アンケート を掲載する。各方面の御協力に今一度感謝し、報告を終わる。「運営への御協力、誠にありがとうございました。」

B 第34回山口県高等学校総合文化祭 総合開会式要項

- ・日 時 平成24年6月14日（木）～16日（土）
- ・テーマ 「つなごう 文化の絆を
進もう 創造の世界へ」
- ・場 所 14日（山口市民会館）
15～16日（防府市公会堂）
- ・主 催 山口県・山口県教育委員会
山口県高等学校文化連盟
- ・共 催 山口市・山口市教育委員会
防府市・防府市教育委員会
- ・主管校 山口県立山口高等学校
- ・内 容 (1)総合開会式（14日 山口市民会館）
 - ◇開会宣言 山口県立山口高等学校生徒代表
 - ◇専門部入場（兼15部門紹介）
 - ◇主催者挨拶 山口県高等学校文化連盟会長
山口県教育委員会教育長
山口県立山口高等学校生徒代表
 - ◇歓迎の言葉 山口市長
 - ◇来賓紹介
 - ◇表彰〔功績賞〕
中村 芳喜（山口県立下関西高等学校長）
生田 照代（山口県立下関中等教育学校教諭）
 - 〔優秀芸術文化賞〕
山口県立華陵高等学校舞台芸術部
 - 〔テーマ最優秀賞〕
山口県立山口高等学校2年 村田 純充
- ◇慶祝演奏〔マーチングバンド〕
山口県鴻城高等学校 〈指揮〉内田 良一
- 〔吹奏楽〕
山口地域高等学校吹奏楽団 〈指揮〉丸山 航
〔器楽・管弦楽 合唱〕
山口県高等学校管弦楽団・合唱団 〈指揮〉西村 正浩



主 催 山口県・山口県教育委員会・山口県高等学校文化連盟
共 催 山口市・山口市教育委員会・防府市・防府市教育委員会
主管校 山口県立山口高等学校

C 具体的な改善事項

- ・公文書の全般的な見直し
→次年度以降の人的負担の軽減
- ・実行委員会開催回数および招集人数の見直し
→人的負担の軽減と役員旅費の削減
- ・総合開会式当日の役員教員・生徒数の見直し
→人的負担の軽減と授業時数の確保
- ・必要品目の精査による購入品目全般の見直し
→需用費の大幅な削減
- ・可能な限り総合開会式は主管校、音楽4部門発表会は地域の教員でという役員割の作成
→人的負担の軽減と役員旅費の削減 スムースな舞台運営
- ・役員教員・生徒の役割分担を出演日の午前もしくは午後のみに限定
→人的負担の軽減と役員旅費・食糧費の削減
- ・会場前日準備の廃止および夜間使用料削減の努力
→会場使用料の削減
- ・警備会社への駐車場整理発注をシルバー人材センターへ変更
→経費の削減

D 慶祝演奏参加者数

	管弦楽	合唱	吹奏楽	マーチング
山防地区	68	106	71	40
県 内	10	79	0	0

E 主管校および地区役員への事後アンケート

1. 式典について

【主管校】

- ・来賓の方々に駐車場所等たいへん配慮をいただき円滑に対応できた。
- ・役員生徒それぞれに控室があったのが有難かった。生徒役員の人数も充分だった。
- ・役員生徒がよく動いてくれたので特に困った問題はなかった。受付を通らない来賓がいたことだけ。
- ・この程度の準備期間にこの規模の体制ならば主管校として最善である。
- ・ステージ係が一番たいへんそうであった。事前の会館との打ち合わせに同席が必要かも。
- ・放送原稿の校正から司会に至るまで放送部が大活躍であった。
- ・美術部作成のポスター・パンフ・看板とも素晴らしく、慶祝展示がなかったのが本当に残念だった。
- ・表彰者の受付、誘導他、高文連と連携が取れておらず生徒代表挨拶のリハも重なってしまった。

【地域】

- ・専門部紹介とBGMとの音量のバランスが良かった。紹介原稿が多く早口になって申し訳なかった。
- ・高文連の歌についての説明もしくは1番だけでも歌うとプログラムの楽譜が活きたかもしれない。
- ・主管校の生徒さんの司会が素晴らしかった。

2. 慶祝演奏について（マーチング1校、吹奏楽4校、器楽・管弦楽4校、合唱9校参加）

【主管校】

- ・花道利用予定で合唱を配置していたのが当日変更になって対応に少し手間取った。
- ・音楽関係部門の顧問が協力的であったので主管校との連携が上手くいきスムーズに進行できた。
- ・最後の「翼をください」を会場の生徒もよく歌っていたので良かった。

【地域】

- ・運営がたいへん良く時間通りに進めることができた。
- ・日頃少ない人数で活動しているので大編成の喜びを生徒たちが感じてくれた。
- ・オケのリハを観ることができて良かった。他校との交流も刺激になった。
- ・たいへん良かった。

3. 音楽4部門発表会について

【主管校】

- ・個人的な手伝いを含めずっと大会を支えてくださった地域の学校と顧問の皆様に感謝したい。
- ・楽器に関わる担当部署は要領のわかっている生徒の方が良いかもしれない。
- ・雨中の大会が予想され屋内の打楽器待機場所から適宜舞台袖に楽器を移動する方法を探ったが、各校の生徒たちは本当によく協力してくれた。楽器が大き過ぎて一旦出てもらっても嫌な顔一つされなかった。
- ・急な変更等にもなるべく対応するよう心がけたが、十分ケアできなかった団体もあり申し訳なかった。

【地域①】〈各係〉

- ・受付や誘導など運営が軌道に乗るまで慌ただしいが、地域内の学校がプログラム1番なので良かった。
- ・初日朝プログラムを学校人数分数えるのがたいへんだった。↔全く問題なかった。（相反する意見）
- ・楽器が増える午後は、ステージセッティングの段取りを細かくする必要があった。
- ・学校紹介が長い団体があったので、30秒以内にするなど制限が必要かもしれない。
- ・ステージに入らない程の量の打楽器が書かれていた。顧問のチェックが必要ではないか。
- ・進行を遅らせないためにティンパニは固定にした方が良い。できれば鍵盤楽器はフロアで。
- ・鍵盤楽器の借用を徹底した方が良い。
- ・梅雨時期の大会なので打楽器の導線を中心としたのは良かった。
- ・打楽器待機の部屋が2部屋あったのは良かった。

【地域②】〈全般〉

- ・全般的に合理的な運営で良かった。（複数意見）
- ・役員の生徒たちが各自の持ち場を主体的に運営しようという意識がたいへん高かった。（複数意見）
- ・スタッフの名札があると出演者が質問しやすかったかもしれない。
- ・全日程役員では負担が大きいので、今回のように日や時間を区切っての担当が良い。
- ・午前もしくは午後のシフトであったが、一日中役員が続く場合は複数配置し適宜休憩を取るのが良い。
- ・地区の顧問には最小限の役割分担が組まれていたが、常駐されていた人には、負担が大きかったかも。

4. その他

【主管校】

- ・たいへんスムーズに運営できたが、高文連事務局との連携がさらに必要であろう。
- ・大幅な経費削減の努力の成果が支出総額に現れている。来年度は慶祝展示の復活を希望する。

【地域】

- ・今回の県総文は各係の負担がとても軽く良かった。
- ・大会要項がすっきりしていて出演者の導線の図もわかりやすかった。
- ・音楽4部門発表会のエンディングはいずれの日も感動的で素晴らしかった。

第34回山口県高等学校総合文化祭

展示3部門の報告(美術・工芸、書道、写真) 会場：山口市民会館

運営校 細川邦隆
(山口中央高等学校教諭)

「つなごう文化の絆を 進もう創造の世界へ」のテーマのもと、第34回高等学校総合文化祭展示部門は、平成24年11月16日（金）～18日（日）の3日間にわたり開催されました。会場は山口市民会館の小ホールで書道部門と写真部門の作品を展示し、展示ホールで美術・工芸部門の作品を展示了しました。併設の2会場にわかつての展示でしたが、それぞれの会場ともに展示作品をスペース内に収めることができました。

【日 程】

11月15日（木）会場設営・審査・展示
11月16日（金）9:00～17:00 会場
11月17日（土） タ
11月18日（日）9:00 会場
13:30～ 講評会
（美術・工芸、写真部門）
14:30～ タ（書道部門）
16:00 展示終了 作品返却

【作品点数】

美術・工芸部門	31校より120点
書道部門	21校より61点
写真部門	14校より127点

【準備段階】

諸事情で昨年度に続き今年度も山口市での開催となり、今年度は主管校ではなく、運営校ということで行いました。出展作品の取りまとめや、審査員の依頼などを各部門理事長にお願いしたので助かりました。

10月12日に運営委員会を行い、会場設営等の具体的な打ち合わせを行いました。

【会場設営】

11月15日（木）、山口高校、西京高校、中村女子高校、山口中央高校の美術部、書道部、写真部

の生徒諸君と、顧問の先生方、各部門審査員の先生方の協力のもと、設営と作品受付をスムーズに進めることができ、予定の時間より早く作業を終えることができました。

【会期中】

会期中に会場の山口市民会館の大ホールでもイベントがあり、そちらの来場者の方々にも観ていただけたので、結果的に多くの方々に観ていただくことができました。3日間でおよそ700名の来場者がありました。

【講評会】

18日（日）13:30より美術・工芸、写真部門の講評会を行いました。14:30より書道部門の講評会を行いました。多くの参加者からの質問があり、好評のうちに終わりました。

【おわりに】

3部門の理事長先生をはじめ、山口地区の運営委員の先生方、また審査等協力された先生方など多くの方々の協力のおかげで無事終えることができました。昨年に引き続き準備等運営を協力してくれた山口高校、西京高校、中村女子高校、山口中央高校の美術部、書道部、写真部の生徒の皆さんも、要領よく作業してくれましたので、大変スムーズに運営ができました。大変感謝しております。来年度、下関大会もよい大会になりますよう祈念いたします。

第34回 展示3部門 参加校一覧

No	学校名	美術・工芸	書道	写真	No	学校名	美術・工芸	書道	写真
		作品数	作品数	作品数			作品数	作品数	作品数
1	周防大島高校	2			23	宇部商業高校	1		
2	岩国高校	5	4	8	24	小野田高校			11
3	岩国総合高校	5	1		25	小野田工業高校			5
4	岩国商業高校	4	3		26	青嶺高校	2		
5	岩国工業高校	1		3	27	田部高校	3		
6	柳井高校	5			28	豊浦高校	4		
7	光丘高校	5			29	長府高校	5	1	
8	下松高校	2		9	30	下関西高校	5	4	5
9	下松工業高校			4	31	下関南高校	5	4	
10	熊毛北高校	1		9	32	下関中等教育学校	5	4	
11	徳山高校		4		33	下関商業高校	5	4	
12	新南陽高校	5		18	34	高水高校	4	2	
13	南陽工業高校			9	35	山口県桜ヶ丘高校			1
14	防府高校	4	4		36	誠英高校	2		
15	防府西高校	4			37	中村女子高校		4	
16	山口高校	5	4	14	38	野田学園高校		4	
17	山口中央高校	5	1		39	慶進高校	5		
18	西京高校			5	40	サビエル高校	4		
19	宇部高校	2		17	41	早鞆高校		1	
20	宇部中央高校	5	2		42	萩光塩学院高校	5	2	
21	宇部西高校	5	4				120点	61点	127点
22	宇部工業高校		3	10			31校	21校	14校

第34回山口県高等学校総合文化祭 展示3部門受賞者一覧

美術・工芸部門

優秀賞（全国高総文祭出品候補作品）

学校名	氏 名	学年	題 名	大きさ
岩国工業高等学校	宮本 駿	2	旧街（きゅうがい）	F50 縦
柳井高等学校	濱崎 奏絵	1	期待	F50 縦
豊浦高等学校	宮崎 萌子	2	Lunatic Room ～カミサマの失敗作～	F50 横
下関中等教育学校	島田 春菜	1	瞳を閉じる	F50 縦
下関中等教育学校	染岡 菜月	2	ピリオド	F50 横
サビエル高等学校	沖村明日香	1	動物園	B1 縦

優秀賞

学校名	氏 名	学年	題 名	大きさ
岩国高等学校	村川 紗衣	2	Water is Leaving.	S50
	貴船 涼子 宮本 恵	1	南海の大決闘	立体100×100×200cm
岩国総合高等学校	未廣 昂明	3	我が家の陽	F50 横
	栗林 慶江	2	時間の導き	B1 縦
柳井高等学校	竹谷 美希	1	蛾と蝶	F50 縦
山口高等学校	鯉谷 美緒	2	にちじょう	B1 縦
宇部中央高等学校	古川 実樹	3	関門大橋	F50 横
長府高等学校	福間 彩未	2	LIFE	F50 縦
	藤野 真江	2	苦難の中の力	F50 横
下関南高等学校	溝部 陽美	2	「自分」	F50 横
下関中等教育学校	日下 愛実	2	寂	F50 縦
	山谷 侑衣	2	Splash!!	F50 横
	小西 菜々	1	遙る（さかのぼる）	F50 縦
高水高等学校	村本 理緒	3	ゼンはイチ	B1 縦
サビエル高等学校	杉山 真穂	3	厚東川	F50 横
	大上ひとみ	1	幸せなひととき	F50 縦

書道部門

優秀賞（全国高総文祭出品候補作品）

学校名	氏 名	学年	題 名	大きさ
山 口 高 等 学 校	奈良定恵美	2	臨 光明皇后 楽毅論	半切 縦
下 関 南 高 等 学 校	馬嶋 彩	2	臨 魏靈藏造像記	半切 縦
下 関 中 等 教 育 学 校	上野 瑠那	2	臨 始平公造像記	半切 縦
山口県桜ヶ丘高等学校	山本 伸	2	臨 高貞碑	半切 縦

優秀賞

学校名	氏 名	学年	題 名	大きさ
長 府 高 等 学 校	尾崎奈緒子	1	臨 光定戒牒	半切 縦
下 関 西 高 等 学 校	森本 葉月	2	臨 礼器碑	半切 縦
下 関 南 高 等 学 校	牧野 千鶴	2	臨 祭姪文稿	半切 縦
下 関 中 等 教 育 学 校	三輪 巴絵	1	臨 書譜	半切 縦
下 関 商 業 高 等 学 校	朝田 莉茉	1	臨 雁塔聖教序	半切 縦

写真部門

優秀賞（全国高総文祭出品候補作品）

学校名	氏 名	学年	題 名	大きさ
下 松 高 等 学 校	徳光 利奈	2	センチメンタル	50×65
	松原 佑季	2	壊せ	65×50
新 南 陽 高 等 学 校	酒井 菜奈	2	ボクのじかん	42×58
	鈴野菜奈子	2	決意	42×58
宇 部 工 業 高 等 学 校	中川 圭太	1	応援	53×64

優秀賞

学校名	氏 名	学年	題 名	大きさ
岩 国 工 業 高 等 学 校	新庄 智史	2	funny face	53×64
下 松 高 等 学 校	森田ほのか	2	魔法使い1日目。	50×65
新 南 陽 高 等 学 校	服部 江里	2	あーっ	42×58
南 陽 工 業 高 等 学 校	林 雅成	2	削る	58×42
	三牧 幸成	1	何かよう？	42×58
山 口 高 等 学 校	後藤 千惠	3	湯田の路地	54×65
宇 部 高 等 学 校	苅田 雅子	1	君の存在	42×51

各部門の報告

器楽・管弦楽部門

理事長 飯田 幸生
(下関南高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部門では
今年度、次のような事業を行いました。

1. 部門の活動報告

(1) 平成24年度第34回山口県高等学校総合文化祭総合開会式において慶祝演奏として合唱部門との合同演奏

* 6月14日（木）

* 合同演奏：佐藤 真作曲「大地讃頌」

ヘンデル作曲「ハレルヤ・コーラス」

村井 邦彦 作曲「翼をください」

指揮：西村 正浩

* 参加出演／器楽・管弦楽部門

(2) 平成24年度第34回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

* 6月15日（金）、16日（土）

* 参加各校による弦楽・ギター・マンドリン・管弦楽の演奏

* 参加出演／6校 266名

(3) 第36回全国総合文化祭

* 8月10日（金）・8月11日（土）

* 富山市芸術文化ホール「オーバード・ホール」

* 山口県立山口中央高等学校が県代表として
参加

* ムソルグ斯基作曲 交響詩「はげ山の一
夜」「平清盛」演奏

(4) 平成24年度山口県高等学校文化連盟器楽・
管弦楽部会

* 2012年11月30日（金）

下関南高等学校会議室

部会長以下出席者6名

* 第32回器楽・管弦楽スプリングコンサート
(山口大会)、県総文全総文、高文連表彰、
役員改選などについて協議

(5) 第32回器楽・管弦楽スプリングコンサート

* 平成25年3月30日（土） 山口市民会館

* 参加7校によるギター・マンドリン、管弦
楽などの演奏

2. 山口県高等学校総合文化祭の記録

会場：防府市公会堂

平成24年度第34回山口県高等学校総合文化祭の音楽関係4部門発表会は6月15日（金）、16日（土）の2日間にわたり防府市公会堂において催されました。また、前日14日の総合開会式においては、満員の聴衆のもと、合唱部門との合同で式典の慶祝演奏を行いました。

今年度は予算緊縮の関係で、近辺の高校だけでの編成となりました。本部門以外の学校からの参加も入った異例の編成となりましたが、合唱団とのバランスもよく、ホールの大きさに見合ったすばらしい演奏ができたと感じています。

今年も去年に引き続き、合唱部門と合同でヘンデル作曲のオラトリオ「メサイア」から「ハレルヤ・コーラス」そして佐藤真作曲のカンタータ「土の歌」より「大地讃頌」の2曲を演奏しました。今年も合同練習は当日の午前中のみという厳しい状況の中、山口中央高等学校の西村先生の温かさにあふれるすばらしい指揮のもとで、開幕式典にふさわしく莊重で輝かしい音楽が演奏されました。その演奏は多くの聴衆に深い感銘を与えたこと思います。

さて、翌日の朝から2日間にわたって開催された音楽関係4部門発表会には器楽・管弦楽部門からオーケストラ3校、ギター・マンドリン合奏1校、弦楽合奏2校が参加いたしました。多数の吹奏楽部門の参加校に混じって、その演奏は一服の清涼剤ともいえるすがすがしい演奏でした。各校ともに弦楽器の艶やかで柔らかい音色を備えた立

派な演奏で、大会を大いに盛り上げました。次回の宇部大会ではさらに練習に励み、研鑽を積んだ成果を十分に発揮されることを期待しています。

3. 全国高総文祭の記録

会場：富山市芸術文化ホール
(オーバードホール)

山口県立山口中央高等学校オーケストラ部
3年 岩田 恋奈

私たち山口県立山口中央高等学校オーケストラ部は第36回全国高等学校総合文化祭富山大会に山口県の代表として参加させていただきました。この大きなステージに立てることに誇りを持ち、悔いの残らぬ最高の演奏を目指して、皆で精一杯努力をしてきました。

今回、この舞台で私たちが演奏したムソルグキーの交響詩『はげ山の一夜』と、NHK大河ドラマ『平清盛』メインテーマは、部員皆で曲目を決め、この大会の一年前から一生懸命練習をしてきた、思い入れの深い曲です。本番では、山口県代表であるというプレッシャーから、不安な気持

ちもありました。けれどそれ以上にこのメンバーで、この舞台で演奏できることの嬉しさと、感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。演奏が終わった後は、それまでの苦労を思い出し、大きな達成感に満たされました。今思い返してみると、苦しく述べることもありました。しかし、このメンバーだったからこそ、乗り越えられたのだと思います。

一方、全国の高校生が集まったレベルの高い演奏を聴き、これから私たちオーケストラ部に生かしていくかなければならない課題を得ることもできました。この大会を通して、私たちはかけがえのないものを得ることができたと思います。このような貴重な体験ができたのも、私たちオーケストラ部を支えてくださったすべてのみなさんのおかげだと思います。学校の先生方、先輩方、同級生のみんな、そして保護者の方々、そして何にもまして顧問の西村先生、今津先生、村上先生の御指導とお力添えがあったからこそ、最高の思い出を作ることが出来たのだと思っております。この場をお借りして、部員一同心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



各部門の報告

合唱部門

理事長 田 中 陸
(野田学園高等学校教諭)

1. 部門の活動報告

(1) 平成24年度第34回山口県高等学校総合文化祭開幕式典において慶祝演奏

- ・ 6月14日（木）
- ・ 山口県高等学校管弦楽団との合同演奏
- ・ 曲 目／“オラトリオ《メサイア》より
「ハレルヤ・コーラス」”
“カンタータ《土の歌》より
「大地讃頌」”

・ 山口県高等学校合唱団／9校 184名

・ 山口市民会館

今年は、昨年と同様、オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」、カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」を演奏した。日ごろ小人数で活動している生徒達にとって、この大合唱は 貴重な経験となったようである。ここ数年、男声部員が増加傾向にあることから、非常に伸び伸びとした声で充実したハーモニーを奏でることができた。最後に会場の人と一緒に歌った「翼を下さい」ではホールの熱気が最高潮に達し、感動のうちに幕を閉じた。

(2) 平成24年度第34回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

- ・ 6月15日（金）、16日（土）
- ・ 防府市公会堂
- ・ 合唱部門出演者／7校 172名

(3) 第36回全国高等学校総合文化祭

- ・ 8月12日（日）
- ・ 高岡市民会館ホール（富山県）
- ・ 山口県代表／出場せず

(4) 山口県高等学校合唱講習会（合唱における技術向上のための講習会）

- ・ 平成25年1月27日（日）
- ・ 講 師／伊東恵司（合唱指揮者）

・ 内 容／基礎的練習への取り込み方及び楽曲を使った演奏指導

・ 曲 目／「O magnum mysterium」
(Tomas Luis de Victoria 曲)
“地球ばんざい” より
「どうしてだろうと」
(鈴木憲夫 作曲)

・ 場 所／秋吉台国際芸術村ホール

・ 参加者／8校 84名

今年度は、関西を中心に合唱指揮や指導者として大活躍されている伊東恵司先生をお招きした。先生が指導されている各団体は、国内外の各種コンクールで輝かしい実績を残していることから、生徒はとても熱心に受講していた。午前中は日々の基礎的な練習の仕方を行い、ハンドサインを使って互いの声を聴き合いながらハーモニーを作り上げる練習など、楽しみながら練習する効果的な方法を教えていただいた。午後は、実際にルネッサンス期の合唱作品を演奏し、どの点に注意を払いながら練習し演奏するかについて講習を受けた。会場が大変響きの良いホールと言うこともあり、倍音に耳を澄ませながら演奏した結果、初めて合同で取り組んだとは思えない素晴らしい響きの演奏となった。

(5) 平成24年度山口県高等学校文化連盟合唱部会及び研修会

- ・ 3月4日（月）
- ・ 野田学園高等学校会議室
- ・ 出席者／部会長以下8名
- ・ 議 題／県総文、全総文、高文連表彰などについて

2. 山口県高等学校総合文化祭の記録

平成24年度第34回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、6月14日（木）「山口市民会館

大ホール」にて、盛大に開催されました。例年のように、器楽・管弦楽部門と合唱部門と合同で慶祝演奏に参加しました。オーケストラとの大合唱（岩国高校、防府高校、山口高校、山口中央高校、野田学園高校、中村女子高校、宇部中央高校、萩高校、萩光塩学院高校、の9校・計184名）は、ホール一杯に美しく響き渡り、満員の聴衆の方々にも深い感銘を与えたことと思います。毎年、男声が少人数であるためバランス面で心配していましたが、生徒達の熱の入った伸び伸びとした演奏のお陰で、素晴らしい合唱ができました。日頃小人数で部活動をしている生徒が多いいため、他校との合同合唱は勿論のこと、オーケストラとの共演はとても貴重な体験になったことと思います。

また、音楽4部門の発表は、6月15日(金)、16

日(土)の2日間、防府市公会堂にて、高校生の熱気あふれる演奏が続きました。合唱部門の出演校は、7校（宇部中央、山口、山口中央、野田学園、岩国、防府、萩）出演者は172名でした（山口高校合唱部は管弦楽との合同演奏）。各校よく工夫されたプログラムで、美しく柔らかい歌声が響き渡り、個性あふれる演奏でした。

例年、合唱部の廃部・休部による参加校の減少が問題でしたが、近年男子部員が増加傾向にあり、明るい話題となっています。今後も生徒数の減少や指導者不足等の問題はありますが、この総合文化祭を契機に益々一人でも多くの合唱仲間が増えるよう、願っています。

来年度は、「渡辺翁記念会館」で開催されます。また次回もすばらしい演奏を期待しています。



各部門の報告

吹奏楽部門

理事長 志道博資
(宇部高等学校教諭)

1 部門の活動報告

平成24年度の吹奏楽部門の活動を報告いたします。

(1) 県高等学校総合文化祭総合開会式式典においての慶祝演奏

*開催日 6月14日（木）
*会場 山口市 山口市民会館
*参加演奏 山口市内高等学校吹奏楽部合
同選抜吹奏楽団 50名
*演奏曲目 「エルザの大聖堂への行列」
R. ワーグナー 作曲
L. カイリエ 編曲
*指揮 丸山航
(山口県立西京高等学校)

(2) 県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会・連合音楽会

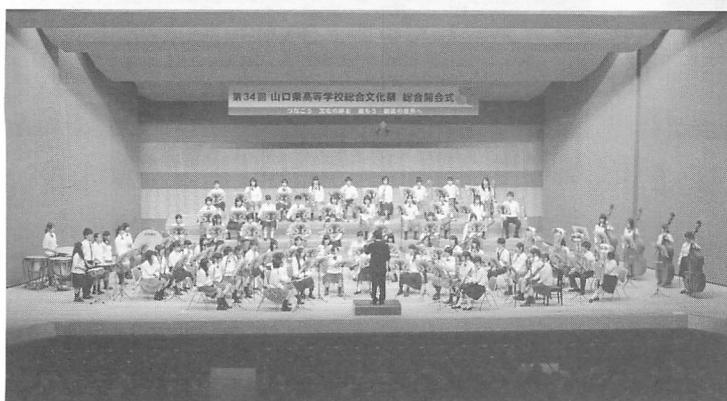
*開催日 6月15日（金）、16
日（土）
*会場 防府市 防府市公会
堂
*参加演奏 15日（金）31団体
954名、
16日（土）22団体
659名

(3) 全国高等学校総合文化祭

*開催日 8月9日（木）、10日（金）
*会場 富山県魚津市新川文化ホール
*参加演奏 山口県立下松高等学校吹奏楽
部（1日目プログラム8番）
*演奏曲目 「交響曲第3番」
J. バーンズ 作曲
*指揮 上田憲明（下松高等学校吹奏
楽部顧問教諭）

(4) 吹奏楽部門総会・研修会

*開催日 11月30日（金）
*会場 山口県立宇部高等学校 多目
的教室、音楽室
*参加人数 33名
*講師 河添達也 先生（島根大学
教育学部教授）





2 山口県高等学校総合文化祭の記録

平成24年度第34回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が6月14日(木)に、山口市民会館で開催されました。その式典での慶祝演奏には、本部門から山口市内の高等学校の吹奏楽部から選抜された50名が、合同吹奏楽団を組んで参加いたしました。西京高校の丸山 航先生の指揮により、ワーグナー作曲「エルザの大聖堂への行列」を華麗かつダイナミックに演奏いたしました。

また、6月15日(金)と6月16日(土)には、防府市公会堂において音楽4部門発表会を開催いたし

ました。この2日間で53団体1,613名が、心のこもった熱い演奏を繰り広げました。1日目の最後には、野上慎二郎先生指揮・防府西高等学校吹奏楽部伴奏で、「翼をください」を会場内の全員で合唱いたしました。

3 全国高等学校総合文化祭の記録

山口県立下松高等学校 吹奏楽部

顧問 上田 憲明

平成24年8月9日(木)、10日(金)

の両日、富山県魚津市の新川文化ホールにて、第36回全国高等学校総合文化祭「全国高総文祭とやま2012」の吹奏楽部門が開催されました。下松高校吹奏楽部は第1日目に出演し、ジェームズ・バーンズ作曲、交響曲第3番作品89を演奏しました。日頃の練習の成果を存分に發揮することができ、思い出に残る演奏旅行となりました。また、第1日目の演奏終了後は交流会も開催され、日本全国の高校生と楽しいひとときを過ごすこともできました。



各部門の報告

美術・工芸部門

理事長 濱 崎 洋
(山口県立柳井高等学校)

平成24年度美術・工芸部門の活動について報告いたします。

1. 全国高等学校総合文化祭〈富山大会〉美術・工芸部門

平成24年8月8日（水）～8月12日（日）5日間、全国の都道府県で選ばれた絵画、彫刻、デザイン、版画、工芸、映像等404点の優秀作品が、富山県民会館美術館、地階展示室、ホテル、2階ギャラリーに展示されました。その中にあって、本県から出品した平面作品5点、立体作品1点はそれぞれに作者の思いや気持ちが込められた完成度の高い作品として全国にアピールしていました。全国のレベルの高い作品を鑑賞した本県6名の生徒も、視野が広がり、感情を豊かにし、今後の表現力を高める原動力となったことだと思います。

さて、諸行事ですが、部門開会式、講演・講評会は展示会場から徒歩10分程度離れた富山県教育文化ホールで行われました。開会式では全国高文連美術・工芸会長から、「この展覧会はじょうずとかへたを争うものではない。お互いの作品を鑑賞することによって視野を広げ、感情を豊かにし、表現力を高める。うまく表現しているかどうかではなく、心の驚き、感動が大切。」という内容のあいさつがありました。講演会・講評会では画家の木下晋（きのした・すすむ）氏が、うまく描くことが大切なのではなく、視覚だけではない、心に響き、感じることのできる作品づくりが大切であることを自身の作品を紹介しながら話され、その後今回の404点の作品の中から30点をピックアップされその



良さなどについて講評されました。本県からは岩国工業高校の「一本道」（宮本駿）が紹介され、「この展覧会の中ではとても新鮮な絵であり、よい絵だ。」と、好評を受けました。

交流会は展示会場から1kmぐらい離れた富山県立近代美術館と富山市科学博物館で行われました。全国からの参加生徒と、富山県の生徒が班に振り分けられ、各班は「美術鑑賞会」と「風鈴短冊制作」を班ごとに交代でおこないました。「美術鑑賞会」では富山県立近代美術館の1階企画展「世界ポスタートリエンナーレトヤマ2012」と3階常設展を各班で鑑賞しました。

「風鈴短冊制作」では高岡風鈴の短冊に都道府県でアピールしたいことを染め和紙を使ってデザインし、できた風鈴は記念に持ち帰りました。

以下、参加した生徒のみなさんより感想をいただいています。

山口県立岩国高等学校 2年 石田 奈緒美 「森じいの午後」

私は絵を描くのは大好きですが、描いている時はいつも不安と焦りでいっぱいです。そんな中、今回の全国高総文祭へ参加できたことは私にとってとても貴重で、良い刺激になったと思います。講評会では作品を作る過程だけでなく、その作品をどんな気持ちで作ったかということも聞くことができ、励みになりました。



山口県立岩国工業高等学校 2年 宮本 駿 「一本道」

初参加でした。富山の人達の対応がとてもよく開会式も素晴らしいものでした。講評では、

先生の絵に対する考え方や生徒の描くときの意図を知ることができ勉強になりました。

また、各県のPR用に風鈴を作りましたが、色和紙で錦帯橋を短冊形に収めることに苦労しました。他県の人達はそれぞれ自分の県の文化をうまく表現していて感心しました。

山口県立青嶺高等学校 3年 山根 瑠子

「Signpost after rain」

富山総文に参加して私が感じたことは驚きと興奮です。同じ高校生とは思えない表現力と創造力に圧倒されると共に、その絵を直で見ることができた喜びや感動を味わうことができ、良い刺激を得ることができました。このような貴重な経験が出来たのは、先生方や家族、友人、また地元の人々の協力があったからです。本当にありがとうございました。

山口県立豊浦高等学校 3年 木村 智恵子

「無題」

全国の高校生の作品を観ることができ、自分にはない表現法や世界観に触れることができ、とても貴重な経験をすることができました。同じモチーフを選んでいるのに、伝えたい事や絵柄は全く違っている…。参加した人の数だけ多くの作品があり“美術”って本当に幅広いと思いました。また、自分自身の創作の幅を広げる事ができるように思います。

山口県立下関南高等学校 3年 中本 千尋

「本当の叫び」

富山大会で親しくなった他県の高校生たちの顔は、今でもはっきり思い出せます。彼らの存在を通してより深く感じられた作品のパワーは、どれも私の心中に大きく揺さぶりをかける、とても強いものでした。そんな作品との出会い、作品を手がけた高校生たちとの心の交流は、私の人生において大きな意味を持つ、貴重な経験だったと感じます。

山口県立下関中等教育学校 3年 東 純一

「明日の途中」

展示会場や交流会では、たくさんの新たな考え方、発想に出会いました。例えば、作品を構成する素材の性質を、そのまま意匠に反映させること。当然のことかもしれませんのが、これま

でデザインを決めてから素材に手をつけていた私には、あっと声を上げたくなるような発想でした。富山で得た多くのこと、これからにしっかり役立てていきたいです。

2. 山口県高等学校総合文化祭展示部門

11月16日から18日まで山口市民会館展示ホールで開催されました。美術・工芸部門には県内31校より120点の出品がありました。内訳は平面115点、立体5点です。レベルの高い大作が多く、平面では約8割の作品がF50やB1の出品規定最大のサイズでした。審査では24点が優秀賞に選ばれ、その中から6点が来年度の全国高等学校総合文化祭〈長崎大会〉の出品候補作品に選ばされました。講評会では審査にあたった先生から優秀作品1点1点について、その良さや制作方法について話があり、互いの作品を鑑賞し合うことで視野を広げ今後の表現活動のよい原動力となりました。

3. 美術・工芸部連絡協議会および研修会

10月5日に柳井高等学校で行いました。18名の参加がありました。美術の専門でない部顧問の先生や、非常勤講師で指導者の先生も参加され、より充実した協議・研修会となりました。協議会では部活動の問題点や総文祭のあり方にについて意見交換がなされました。研修会では、全国大会の作品のスライドショーと豊浦高校美術部の活動紹介がありました。これから多くの顧問や指導者の参加を期待しています。



各部門の報告

書道部門

理事長 梶山 美智子
(長府高等学校教諭)

平成24年度山口県高文連書道部門の主な活動について報告いたします。

1. 第14回高文連書道部門生徒研修会

今年度の研修会は、9月15日(土)、16日(日)の1泊2日で、生徒35名の参加により実施しました。研修内容として例年通りの共同作品、一字書創作、県総合文化祭出品作品の練習に加えて、今年度は書道史の内容を取り入れたビンゴゲームも取り入れ、大変盛り上がり、他高の生徒との交流も深りました。

今回共同作品として制作しました3種類の隸書作品は、屏風に仕立て、山口市民会館で開催しました11月の県総合文化祭展示部門におきまして、また、12月に下関市の海峡メッセで開かれました全国高文連の研究大会におきましても展示することができ、多くの方々に見ていただくことができました。

来年度も多くの中学生のみなさんの参加によって、県内書道部の交流を深めていきたいと考えています。



2. 全国高等学校総合文化祭〈富山大会〉

本年度の全国総合文化祭は、8月8日(水)から8月12日(日)まで、富山県魚津市で開催されました。「創造の舞台～美しき越の国～」をテーマに、蜃気楼の見える海近くの魚津スポーツテクノドームありそドームアリーナで全ての行事が行われました。

書道部門には全国から漢字231点、仮名50点、

漢字仮名交じりの書22点、篆刻・刻字9点、計312点の力作が出品されました。山口県からは、山口、下関西、下関中等教育、下関商業の4校が代表として、出品しました。楷書、行書、隸書のそれぞれの古典の特徴を捉え、充実した線質で表現されており、県代表にふさわしい出来栄えでした。

審査の結果、奨励賞11点、特別賞45点、朝日新聞社賞3点を選出しましたが、残念ながら山口県からの入賞はありませんでした。

なお、下関中等教育学校の西村昂将さんの作品が事務局の推薦により、平成25年2月に開催されます平成24年度全国高等学校総合文化祭優秀作品展示会に展示されることになりました。

交流会は、8月10日(金)開会式に引き続いで、行われました。今回は各班に分かれて自己紹介などをした後、少しずつ打ち解けた雰囲気の中で、富山の薬売りのおまけについていた紙風船の制作が進められていきました。あらかじめ考えていた言葉を書き入れ、押印して完成させるというものでした。

昨年度の福島大会は震災の影響で審査のみでしたが、今年度生徒たちは、実際に会場を訪れ全国の高校生の作品を見て、大変刺激を受け、また、交流会において作品制作で苦労したことや書道に対する思いなどを語り合うことで、書道だけではなく、今後の高校生活のあらゆることにますます意欲を高めたようで、大変貴重な体験となったようです。



3. 全国総合文化祭（富山大会）

会場：魚津スポーツテクノドーム
ありそドームアリーナ

山口県立山口高等学校 3年 宮本 明奈 『臨 黄州寒食詩卷跋』

富山で行われた全総文祭に参加して書道という芸術の魅力をあらためてより強く感じることができました。

同じ大きさの紙でも表現の仕方がさまざまあることを知り、良い刺激を受けることができました。なかでも木に書を刻した作品や金色の墨で書かれた作品は、生で見るのが初めてでとても興味深かったです。

高校生活でこのような貴重な経験をすることができ、小学校の頃から書道を続けてきてよかったです。このことからまさしく「継続は力なり」という言葉の意味を強く実感することができました。これからもより多くの書体に挑戦して、書道をしっかりと楽しんでいきたいです。

山口県立下関西高等学校 3年 長岡 京香 『臨 枯樹賦』

8月10日から第36回全国高等学校総合文化祭が富山県で開催され、書道部門に参加してきました。全国から選ばれた多くの作品に接し、表現の多彩さや作品から溢れ出る熱気に何より圧倒されたという印象です。

自分の作品制作を振り返ってみると、今まで書いたことのない大きさに戸惑い、また、初めて使う先の長い筆に慣れるまでは大変でした。徐々に長峰に慣れ、書くのが楽しみになっていくに従い、よい作品を書きたいという気持ちが強くなってきました。すべて満足がいく作品、とはいえないですが、自分なりに取組、納得の上、出品できたと思います。きっと同じような想いで制作に取り組んだ全国の高校生の仲間立ちと一緒に創作をした交流会はとても良い思い出となりました。

今回の全国大会の経験で学んだことを大切に、今後の人生に生かしていこうと思います。

山口県立下関中等教育学校 3年 西村 昂将 『臨 張遷碑』

全総文富山大会に参加できたことを、大変嬉しく誇りに思います。自分の力が最大限に發揮でき

るよう、練習に全力を尽くしました。しかし、会場に足を一步踏み入れると、その表現力と希薄に圧倒されました。様々なジャンルの書や作品構成、表現方法等、それぞれが希有な存在感を發揮していました。自分の作品が、その中の1点であることに誇りを感じると共に、まだ完成への余地があるのではないかと、忸怩たるものを感じました。交流会で他行の生徒と作品制作で苦労したこと、書道に対する思いを熱く語り合えたことは、これから私の心の糧になることでしょう。今回の貴重な経験を生かし。これからあらゆる事に積極的に挑戦していこうと心しました。ありがとうございました。

下関市立下関商業高等学校 2年 繁岡 杉菜 『臨 九成宮醴泉銘』

福島県の全総文祭に参加して、とても貴重な経験ができました。全国から出品された三百点以上の作品を見学し、改めて全国の凄さに圧倒され、書道の奥深さに魅了されました。交流会では紙風船オブジェを制作し、他県の生徒とも仲良くなることができ、充実した時間を過ごせました。これらの貴重な経験ができたのも、先生をはじめ、沢山の方が支えて下さったお陰です。これからも、より一層、書道に打ち込んでいきたいと思います。

4. 山口県高等学校総合文化祭展示3部門

書道部門には県内21校より61点が出品され、厳正な審査により、来年の全総文長崎大会への出品候補作品4点を含む優秀賞9点を選出しました。全国大会の候補作品はいずれも楷書の臨書作品となりましたが、他の作品を見ますと、行書作品も楷書と同じくらい多く、全体の傾向としては、大きく変わったところはありませんでした。少数ですが、草書、篆書、隸書の作品と仮名、篆刻、創作作品も見ることができました。

来年度は、書道部門単独で展覧会を開催する予定です。多くの方に会場に足を運んでいただけるよう、現在、運営方法や内容についての見直しや新たな企画の検討を行っているところです。顧問の先生方にも今まで以上の御協力、御指導をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

各部門の報告

写真部門

理事長 尾崎勝利
(新南陽高等学校教諭)

平成24年度の山口県高文連写真部門の活動状況について報告いたします。

1. 平成24年度第36回全国高等学校総合文化祭(富山大会)写真部門

全国高校総文写真部門は全国展・企画展が8月8日～12日の期間に南砺市の福野文化創造センター・ヘリオスで行われました（全国展310点・韓国高校生作品12点・富山県企画展作品47点）。各都道府県の代表作品による全国展は、やはり優れた作品が多く、写真の取り組みに対する意識の高さを感じました。審査員のテラウチマサト氏による講演会で氏は「被写体とのコミュニケーションの大切さ」を強調されました。

なお全国展における山口県からの出品作品の入賞は残念ながらございませんでした。次回以降に期待したいと思います。

2. 第34回山口県高等学校総合文化祭展示部門

11月16日(金)～18日(日)山口市民会館にて県総文展示部門の作品展示が行われました。写真部門は平成22年度からデジタル作品も選考の対象としたことや、各校の写真部顧問の熱心な指導や取り組みの結果、過去最多の127点の作品が集まりました。これまで63点(H21)、90点(H22)、123点(H23)と出展数が増えていますが、他県の取り組みと比較して、まだまだ活発であるとは言えない状況です。また、昨年に引き続き、審査員としてプロカメラマンである（社）日本写真家協会会員のタカオカ邦彦先生をお迎えし、「プロの眼による選考」が叶いました。審査の結果12点が優秀賞に選ばれ、そのうち5点が来年の全国高校総文長崎大会への出品候補作品となりました。最終日の講評会ではタカオカ先生からのおいねいな講評があり、参加された生徒・顧問の皆さんも学ぶことが多かったのではないかと思います。

昨年から引き続き取り組みとして、県高校写真部がいつもお世話になっている「身近な人々」をテーマ（昨年度テーマは日本を励ます「笑顔」）とした作品撮影・作品展示を行いました。

主管校の先生方、役員の先生方、また補助員の生徒の皆さんに感謝いたします。

3. 撮影研修会・提出作品の講評会

展示部門の会期最終日に白石地域交流センターに於いて、タカオカ邦彦先生による撮影研修会があり、32名（生徒25名、顧問7名）の参加がありました。（危険物取扱者試験の日程と重なったため工業高校の生徒の参加が難しかったということがあります）生徒達は商店街など「日常の風景をどうとらえるか」をテーマに、撮影した後、提出された一人一人の作品をスクリーンに投影し、作品に対する本人の説明の後、タカオカ先生のご助言を受けました。熱心に撮影している生徒達の様子は山口県の高校生作品のレベルアップを期待させるものでした。

また、2月には生徒・顧問から提出された作品に対して、タカオカ先生による作品講評がなされる、という形での研修会を行います。

今後も同様な形で研修会を開催し、写真部員の技術向上に役立てたいと考えています。



山口県立新南陽高等学校 写真部3年 弘中 利枝
私は、全国高校総合文化祭富山大会に参加することができました。北陸地方に関してはあまり知識の無かった私は、大会を通じて少しでも富山県を知りたいと思いました。

大会では、まず交流会が行われ、他県の人たちと8~10人のグループで活動しました。それぞれが撮影した写真を持ちより、交換し合い、感想を述べ合うことで他県の人と話すことができ、その中でどのような心情で写真を撮ったのかを聞くことができ、それは撮影の際の参考になるものでした。富山県に関するクイズ大会もあり、グループ内の人たちとより一層うち解けることができました。

撮影会では、世界遺産に登録されている相倉合掌造り集落を散策しました。家屋や民具などをどのように撮影すれば良いか戸惑う場面が多かったのですが、いつも以上に考えながら撮影でき、とても勉強になりました。これから撮影に生かしていきたいと思います。

また、全国総文作品展で全国の高校生の作品を鑑賞しました。受賞作品はどれも優れていて、自分では考えつかないような位置から撮られた写真やアイデアや工夫に富んだ写真ばかりで、自分も普段とは違う視点から撮影してみたいと思わせるものでした。

最終日にはテラウチマサト先生による講評会と講演会を聞きました。テラウチ先生の作品や仕事を中心に話されましたが、特に、動きのあるものの瞬間を写真に撮る難しさや高校生の感性でしか撮れない写の大切さなどの話を聞くことができ、

今後写真を撮る上で参考にしていきたいと思います。



撮影会会場 五箇山（世界遺産）



地元新聞社からインタビューされました



タカオカ邦彦氏による講評会

今回の全国高校総合文化祭に参加して、写真を通して人と交流する素晴らしさを体験することができます。忘れられない思い出になったと感じています。これからも印象に残るような写真を撮り続けていきたいです。

〔おわりに〕

13校から127点の作品が出品されました（昨年度過去最多123点を上回る出品数）。デジタル作品も選考の対象としたことも定着し、ほとんどの作品がデジタルで応募されました。併せて各校写真部顧問の意欲的な取り組みの結果が、作品点数増加につながったと思われます。また、昨年度に引き続きプロカメラマンである（社）日本写真家協会会員のタカオカ邦彦氏をお迎えし、審査・講評のほかに展示最終日に撮影研修会の講師をお願いし、「プロによる写真指導」を行っていることも、写真部活動の活性化につながっていると思われます。

展示写真審査の結果12点の作品が優秀賞に選ばれ、そのうち宇部工業高校・下松高校・新南陽高校の3校5点の作品が来年度富山県で行われる第37回全国高等学校総合文化祭（7月31日(水)~8月4日(日)）への出品候補作品となりました。

最終日に山口市の白石地域交流センターとその周辺を会場として、タカオカ先生による撮影研修会があり、生徒・顧問計32名の参加がありました。身近な日常を自分の目線で切り取ることをテーマとして撮影会に臨み、その後、撮影者による各作品の説明、それに対する講師講評が行われました。短いながらも有意義な活動ができたと思います。山口中央高校をはじめ各校の先生方のご協力に感謝いたします。

（理事長 尾崎）



展示作業をしてくださった生徒（西京高校・山口高校）・役員のみなさん（撮影：タカオカ邦彦氏）

各部門の報告

日本音楽部門

理事長 木坂 佳津江
(山口県立岩国高等学校教諭)

1. 平成24年度日本音楽部門の活動報告

日本音楽部会 理事長 木坂佳津江
(山口県立岩国高等学校 教諭)

本年度の活動は6月16日(土)に下関市菊川ふれあい会館アブニールで開催された、山口県高等学校総合文化祭日本音楽部門発表大会から始まりました。琴に三味線、太鼓に仕舞、郷土芸能と多彩な発表で、今年度は琴と三味線の合奏や、少人数ながら全国大会で耳にするような曲を見事に演奏した学校が、目を引きました。第一候



補であった会場がまさかの抽選漏れで、主管校のご尽力によりようやく見つけた会場でしたが、日本音楽部門にはちょうどよい会場で、盛会のうちに幕を閉じることができました。

8月には富山県射水市高周波文化ホールを会場に、全国高等学校総合文化祭が8月11日(土)12日(日)と開かれました。昨年度は不参加でしたが、今年度は下関短期大学付属高等学校が出演され、すばらしい成果を発表されました。他県ではほとんどがコンクール形式による勝ち上がりで出演校が決定されている現状ですが、山口県は全国を意識して切磋琢磨しつつも、発表大会は日本音楽・郷土芸能、それぞれの学校の特色が十分に發揮される山口県らしい良さを大切にして

いくことを部会で確認し、今年度の大きな活動を終えました。

なお部会では、せっかく生徒たちが伝統楽器の琴を学ぶのだから、現代曲ばかりでなく「古曲」も弾いてみては、という意見が出され、次年度からまずは八橋検査作曲「六段の調べ」にチャレンジして、その成果を合同演奏で発表していくことになりました。これぞ筝曲、という曲を冬場から各校で少しづつ練習することになります。大きな一歩です。



2. 平成24年度山口県高等学校総合文化祭を終えて

下関短期大学付属高等学校 (主管校)

教諭 吉原 達也

第34回山口県高等学校総合文化祭日本音楽部門が平成24年6月16日(土)、下関市の菊川ふれあい会館アブニールを会場に開催されました。あ



いにくの雨模様でしたが、近隣の田園地帯ののどかな風景に日本音楽の音色が染み入るようでした。

今年は県下19校159名の高校生により、箏曲、和太鼓、長唄、仕舞といった多彩な演目が披露され、日頃の練習の成果が発表されました。また、午前中最後の恒例の合同演奏では、9校24名の生徒により水野利彦作曲「さくら・21」が演奏され、当日に初めて合わせたにもかかわらず、お互いの呼吸を感じながらの良い演奏に客席も沸きました。

県立萩高等学校は廃部に伴い今年が最後の出演でしたが、4名の生徒による箏曲の演奏はしっかりと観客の心に残りました。また、箏曲以外にも山口南総合支援学校、宇部鴻城高等学校の雄壮な和太鼓、早鞆高等学校の華やかな平家太鼓と平家踊り、高水高等学校のしっとりとした長唄、誠英高等学校の幽玄な能の仕舞などにより、幅広く豊かな日本の伝統を味わうことが出来ました。

来年は高水高等学校の主管により、岩国で開催されます。各校のより一層磨かれた演目を楽しみにしたいと思います。

3. 第36回全国高等学校総合文化祭（富山大会）

日本音楽部門に参加して

下関短期大学付属高等学校

箏曲部部長 2年 上野菜美樹

私が全国高総文祭に出場できると聞いたのは1年生の時でしたが、思ってもいなかった事で

とても驚きました。発表する曲の練習に取り掛かったのは1年生の夏休みからでした。「砧三章」という曲は難易度も高く、初めて楽譜を見た時は不安でいっぱいでした。3楽章になるとだんだんと速くなってしまい、バラバラになることもありましたが、遅いテンポでしか合わなかつた箇所も早いテンポで演奏できるようになりました。日に日に達成感を感じるようになりました。

富山県射水市で行われた全国高総文祭には部員6名で参加をしました。午前中に他校の演奏を聴いた時、全国レベルの演奏を目の当たりにしました。私達の出番は54校中30番目でした。会場の緊張感に押し潰されそうでしたが、9分間の演奏が終わり、私達らしい演奏が出来たのではないかと思います。

今回このような機会を与えて下さった方々に感謝しています。顧問の先生がおっしゃったように草野球チームが甲子園に行くようなものだと思いましたが、今まで以上の努力が出来、良い物を得られたような気がします。今後の練習も努力を惜しまず励みたいと思います。

多くの方々にご支援、ご協力頂きましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



各部門の報告

囲碁部門

理事長 栗林 浩治
(宇部高等学校教諭)

1. 平成24年度の主な活動報告

(1) 囲碁研修大会

期日：7月21日(土) 場所：宇部高等学校
指導：日本棋院プロ棋士 山本賢太郎五段

(2) 全国高等学校総合文化祭囲碁部門大会

期日：8月8日(水)・9日(木)
場所：富山県「朝日町文化体育センター」
出場者と成績：

団体戦

上村陽介（下関西）・山下将大
(防府商業)・原田美咲(田布施
総合支援) 2勝4敗 39位

個人戦

男子 右田 貴大(山口農)
1勝5敗 45位
女子 多田紗弥子(徳山商工)
2勝4敗 38位

(3) 山口県高等学校総合文化祭囲碁部門大会 (「第34回山口県高総文祭の記録」に記載)

(4) 第16回中国高等学校囲碁選手権大会

期日：12月23日(日)、24日(月)
場所：山口県山口市小郡「YICスタジオ」
成績：個人戦

男子 清水 優一(大津緑洋)
4勝1敗 3位
西村祐一郎(防府)
4勝1敗 5位



(中国大会 対局風景)

右田 貴大(山口農)

3勝2敗 12位

秋山 宜槐(長府)

2勝3敗 17位

岡山 貴之(下関西)

2勝3敗 20位

山本 雄斗(山口)

2勝3敗 21位

女子 三美 晶子(下関西)

2勝3敗 7位

藤岡 望美(下関西)

2勝3敗 11位

中村 優花(防府商工)

1勝4敗 13位

団体戦

男子 山口高等学校

1勝4敗 5位

徳山商工高等学校

0勝5敗 6位

女子 徳山商工高校

1勝3敗 4位

2. 第34回山口県高総文祭の記録

第34回山口県高等学校総合文化祭囲碁部門第24回大会は、10月21日(日)に宇部高校で開催しました。参加校は11校で、35名の生徒が参加し、互いの棋力を競い合うとともに、囲碁を楽しみました。この大会は、全国大会代表と中国大会代表を決める代表決定戦と段級位認定戦とに分かれて行います。代表決定戦には男子16名、女子5名、段級位認定戦には14名の生徒が参加しました。段級位認定戦には3年生の参加も認められており、高校最後の大会で目指す段級位を得ようと例年何人かの3年生が参加しています。生徒にとって自分の段級位を認定してもらうこ

とが大きな励みになっています。代表決定戦も段級位認定戦も、スイス方式で4回戦の対局で行います。

大会結果

男子団体	優勝	山口県立山口高等学校
女子団体	優勝	山口県立徳山商工高校
男子個人	優勝	西村祐一郎（防府）
	2位	右田 貴大（山口農）
	3位	清水 優一（大津緑洋）
女子個人	優勝	三美 晶子（下関西）
	2位	伊藤 唯（徳山商工）

上位大会への出場権

代表決定戦の上位男子3名と女子2名は、平成25年8月3日、4日に長崎県時津町で開催される第37回全国高等学校総合文化祭に出場することになります。全国大会では、男女混成3名で山口県チームを組む団体戦と男女各1名の個人戦に出場します。

また、今年は山口県開催となった第16回中国高等学校囲碁選手権大会には、男子団体戦に山口高校と開催県枠として徳山商工高校、女子団体戦に徳山商工高校、男子個人戦には、団体戦出場者を除く県内予選の男子上位6位までの選手、女子個人戦には、上位2名が出場しました。



(全国総文・対局風景)

3. 第36回全国高総文祭の記録

第36回全国高等学校総合文化祭囲碁部門は、8月8日(水)・9日(木)に富山県朝日町文化体育センター（サンリーナ）で開催されました。新潟県境に近く、ヒスイの原石が拾えるというヒスイ海岸のある朝日町の文化体育センターに、46都道府県から230名の高校生棋士が集まり、2日間6局の対戦で、互いの棋力を競い合いました。

大会は、団体戦（男女混成で3名の各県代表チーム）と男女個人戦（各1名の各県代表）で行われます。山口県チームは、前年10月の県総文祭の上位入賞者が代表となって出場しました。今年度全国総文祭囲碁部門大会は将棋部門大会と日程が重なっており、その関係で代表が1名5月に交代せざるを得ない事態が生じましたが、参加した生徒それぞれに頑張りました。対戦は、勝者同士敗者同士を対戦させてゆき、2日間で6局の各対戦相手の勝敗も加味して順位を決めるスイス方式で行われます。

近年は各県とも、囲碁の指導者が減少し、それに伴って囲碁部も減少しており、囲碁を楽しむ生徒の環境は狭くなるばかりです。アジア大会の競技にも加えられた囲碁という優れた知的競技が、教育現場から姿を消しつつあるのは惜しいかぎりです。



(県総文・対局風景)

各部門の報告

演劇部門

理事長 新竹伸芳
(宇部高等学校教諭)

1. 部門の活動報告

演劇部の新年度は、まず部員獲得という極めて切実な問題に直面することから始まります。「今年は誰も入ってこないんじゃないかな」という不安と、運良く(?)部員が入ってくれた時の喜びはおそらく演劇部顧問共通のものだろうと思います。

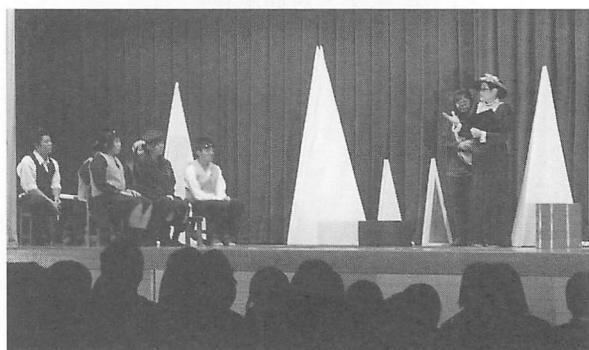
そんな演劇部門の平成24年度の主な活動を以下にまとめてみます。

- (1) 全国大会(富山県民会館) 8月10~12日
演劇の大会はコンクール形式をとっているため、全国大会へは、前年度のブロック大会最優秀校しか出場できません。今年度は残念ながら山口県から出場することはできませんでしたが、下関南高校の坂田琴音さんが中国ブロック代表の生徒講評委員として参加し、鋭い視点から捉えた講評で注目を集めました。
- (2) 地区大会(県内4地区) 8月9~19日
 - ① 8月9~10日 下関地区 8校上演
下関市生涯学習プラザ
 - ② 8月11日 山防地区 7校上演
山口南総合センター
 - ③ 8月17日 周防地区 5校上演
周南市市民館
 - ④ 8月19日 宇部地区 5校上演
宇部市文化会館

地区大会を突破しないと、その後に続く、県大会、中国大会および全国大会出場の可能性が全てここで絶たれてしまいます。その意味で演劇部にとって極めて重要な大会です。

今年度は、県下の演劇部全てが地区大会で上演することができました。例年、部員不足などで上演できない学校が出ていましたので、この快挙(?)は大変喜ばしいことです。

- (3) 演劇講習会(周南市文化会館) 8月23日
今年度の演劇講習会は、中国大会開催県ということで、中国地区の照明講習会を兼ねて、日本照明家協会中国支部から講師の方々をお招きして、周南市文化会館で行われました。生徒90名、顧問12名が参加して、舞台の安全管理や照明器具の種類・特徴等について講義を受けた後、実際に舞台照明を作っていく過程を学びました。
- (4) 第34回山口県高等学校総合文化祭演劇部門
(下関市民会館) 10月27~28日
9校が上演し、防府西、新南陽、華陵の3校が最優秀賞で、中国大会出場権を得ました。
- (5) 第50回中国地区高等学校演劇発表会
(周南市文化会館) 11月23~24日
中国各県代表の11校が上演し、山口県からは、防府西、新南陽、華陵の3校が出場しました。残念ながら全国大会出場はなりませんでしたが、3校とも熱演で観客を魅了していました。
- (6) 各地区的活動
 - ① 12月24日 宇部地区高等学校演劇講習会
(サビエル高校) 5校参加
 - ② 2月2日 周防地区演劇新人大会(下松市地域交流センター) 4校参加
 - ③ 3月23日 下関地区第20回合同公演(下関市民会館) 6校参加



2. 山口県高等学校総合文化祭の記録

会場 下関市民会館

第34回山口県高等学校総合文化祭演劇部門・第31回山口県高等学校演劇大会は、下関市民会館を会場に、10月26日(金)リハーサル、27日(土)・28日(日)本番という日程で開催され、県内4地区の代表9校が上演しました。今年度は山口県で中国大会が開催されるため、中国大会出場枠が通常の2校から3校に増えるとあって、各出場校とも、例年以上に気合いの入った舞台を披露してくれました。審査の結果、新南陽高校、防府西高校、華陵高校の3校が最優秀賞に選ばれ、中国大会に出場しました。

新南陽高校は、高校の演劇部を舞台にし、モンスター・ペアレントやネグレクトの問題も交えた作品でした。防府西高校は、応援に取り組む高校生のみずみずしさとパワーを感じさせる迫力ある舞台でした。また華陵高校は、テンポの良さに加え、学校改革や教員評価、介護の問題なども織り込んだ意欲作でした。

今大会を観て、昨年度の全国大会で華陵高校が全国一になった影響もあってか、山口県の高校演劇が確実に成熟しているという印象を受けました。それは、演技だけでなく、照明や音響、舞台装置など全てに言えると思います。

一方で上演を陰で支えてくれる人々の存在も忘れてはなりません。例えば照明では、今回、スポットライトを約120個（会館スタッフ曰く、「会館始まって以来の数」）も仕込んでくれたおかげでイメージ通りの照明が作されました。



また、大がかりな舞台装置が多かったのですが、下関地区の生徒・顧問の綿密な準備と迅速な働

きでスムーズに搬出入されていました。

なお、今回から昨年度までの生徒審査委員会を「生徒講評委員会」に改め、上演作品についての意見交換を行って発表するという形にしました。今大会で選ばれた3名の優秀講評委員が、中国大会でも講評委員を務めました。これを機に、上演するだけでなく、舞台を「観る」活動も充実させていきたいと考えています。



第34回山口県高等学校総合文化祭（演劇部門）

第31回山口県高等学校演劇大会 上演一覧（上演順）

上演校	上演作品	作者
下関南高校	◇OVER THE DREAM	藍坂もなか
◎新南陽高校	◇それでもカメは歩み続ける	羽鳥 敦司
◎防府西高校	ジンジヤーエール!	平田おりえ・新井 繁 (顧問潤色)
宇部高校	ナユタ	大垣ヤスシ
梅光学院中学高校	独り遊び	楽静 (演劇部潤色)
◎華陵高校	◇われのみぞしる	フローレス・デラコリーナ
山口中央高校	お葬式	亀尾 佳宏
宇部中央高校	ボランケンにようこと	やまもとけいぞう (演劇部潤色)
下関商業高校	◇Life is…	○肌色雲

◎は最優秀校（中国大会出場） ○は創作脚本賞 ◇は創作

講師・審査員

篠崎 光正

(演出家 日本演出者協会理事 SHINOZAKI-STUDIO代表)

松田 勲

(下関市民会館主査)

河村 彩乃

(山口県高演協常任理事 宇部西高校演劇部顧問)

各部門の報告

放送部門

理事長 田 中 和 良
(周南総合支援学校教諭)

平成24年度放送部門の主な活動を報告いたします。

1. 部門の活動報告

- (1) 第36回全国高等学校総合文化祭（富山大会）
8月11日(土)、12日(日)に富山市の「富山国際会議場」と「富山市民プラザ」で開催されました。

直接会場で他県の発表を聞いたり、交流したりする機会を得ることができました。富山大会では、独自のCM部門が開催されました。全国から参加した高校生が独創的な視点で富山の魅力を発掘し、CMという形で表現することにより、全国各地の地域特性を再認識するという趣旨からでした。

残念ながら、山口県からの入賞はありませんでした。（参加者、参加校は下記のとおりです）

【アナウンス部門】

- 熊毛南高等学校 山本 里美
「自然と共生する有機農業家」
下松高等学校 古賀 舞美
「第63回全国植樹祭」
徳山高等学校 白井 洋子
「周南元氣かるた」

【朗読部門】

- 熊毛南高等学校 北山 美咲
「小学五年生」
徳山高等学校 新井 万輪
「石の女」
徳山高等学校 下村 楓
「めぐりびな」

【オーディオピクチャ部門】

- 岩国高等学校「竹楽物語」

【ビデオメッセージ部門】

- 岩国高等学校 「ミクロワールド」
熊毛南高等学校 「小さな町の大きな夢」

【CM部門】

- 熊毛南高等学校 「平生の特産」

- (2) 第34回山口県高等学校総合文化祭
第19回放送部大会
11月10日（土）ニューメディアプラザ山口

で行われました。（詳細は「第34回山口県高総文祭の記録放送部門」をご覧下さい。）

(3) 研修会

第1回 6月16日(土)徳山高等学校、第2回 8月4日(土)岩国高校で今年もフリーアナウンサーの安田知博さんを講師にお迎えして「読み」の技術向上の研修会を行いました。

(4) アナウンス・朗読大会

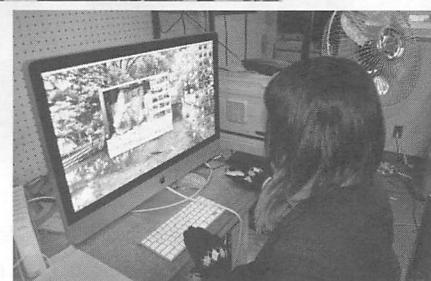
安田知博さんの研修を受けて、第3回目の研修会にあたる時期に山口県内の大会を設定しました。

3月17日(日)に徳山高校でおこなわれます。各校の放送部員を集め、緊張感ある場面で発表し交流を深めることともに、コンテスト性のある大会に対応するため、大会慣れをしておくためでもあります。

2. 山口県高総文祭の記録（放送部門）

11月10日（土）山口市のニューメディアプラザ山口で第34回山口県高等学校総合文化祭第19回放送部大会が開催されました。昨年度同様12校が参加。朗読部門24名（昨年度30名）、アナウンス部門26名（昨年度21名）、オーディオピクチャ部門3校（昨年度2校）、ビデオメッセージ部門5校（昨年度3校）が出場しました。

朗読部門、アナウンス部門の審査は、テレビ山口の横溝洋一郎アナウンサー、山口朝日放送の柘植忠司アナウンサー、FM山口の新井道子



アナウンサー。番組（オーディオピクチャー部門、ビデオメッセージ部門）の審査は山口ケーブルビジョンの山野友義さんにお願いしました。採点だけでなく、発表者一人一人に対して丁寧なコメントを書いていただいたり、大会閉会後も遅くまで希望者に個別指導をしていただきました、とても勉強になった一日になりました。

大会の結果は下記のとおりです。

【アナウンス部門】

最優秀賞	徳山高等学校	大嶋沙也加
優秀賞	山口高等学校	村田 紘充
	徳山高等学校	樽本 桃果
入賞	徳山高等学校	中本 萌
	高水高等学校	藤中 宏斗
	熊毛南高等学校	城 歩夢

【朗読部門】

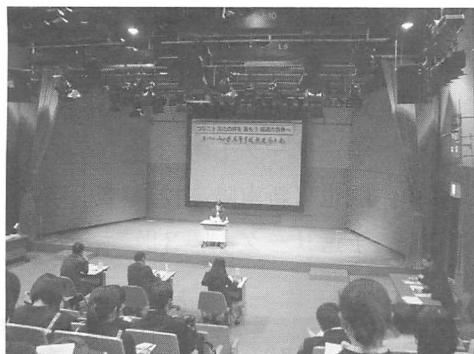
最優秀賞	熊毛南高等学校	山本 里美
優秀賞	山口高等学校	宮田ゆかり
	徳山高等学校	天野 翔太
入賞	高水高等学校	河津 敦矢
	徳山高等学校	中村佳菜子
	徳山高等学校	広中 優香

【オーディオピクチャー部門】

最優秀賞	岩国高等学校
	広島の英雄、山口にあり

【ビデオメッセージ部門】

最優秀賞	岩国高等学校	岩国in Box
優秀賞	熊毛南高等学校	好きだから
		～うどんが人がこの町が～



各部門の最優秀賞、優秀賞を受賞した個人・団体は、8月3日(土)、4日(日)に長崎県諫早市で行われる第37回全国高等学校総合文化祭に出場することになります。

3. 第36回全国高校総文祭の記録

山口県立熊毛南高等学校 3年 西原 麻衣

私たち放送部は、8月11日と12日に富山国際

会議場と富山市民プラザで行われた高校総祭に出場しました。開会式では、来年の開催県である長崎県の生徒が創作劇『風は西から吹く』が披露され、今から来年の総文祭が楽しみになりました。総文祭では、アナウンス部門、朗読部門のステージ発表、オーディオピクチャー部門、ビデオメッセージ部門、そして今年から新たに始まったCM部門の5部門が行われました。

その中で特に印象に残ったのはCM部門です。30秒という短い制限時間で富山県の魅力を伝えるCMを作らないといけません。また、現地富山県で撮影し、その場で編集する難しい部門でした。しかし、各都道府県代表ということもあり、とても短時間で作ったように思えないすばらしい作品がたくさんあり、感動しました。

また、全国のたくさんの仲間と交流することもできました。私たち高校生にとって貴重な体験をすることができました。これからも全国の仲間と競い合い、自分を磨いていきたいと思います。

山口県立熊毛南高等学校 2年 上野 杏奈

CM部門の県代表として選ばれると思ってなかつたので驚くとともに嬉しく思いました。

また、富山県に行って富山県のCMをつくらなければならぬという重圧と不安を感じていました。富山県と言えばまったく分からず、有名なものがあるようないような・・・漠然とした印象を持つつ、まずは、富山県とはどんなところかを調べてみることにしました。富山県について調べはじめると、インターネットはもちろんのこと、テレビで富山県の事をやっていると自然に見るようになりました。全国大会の会場の対面が宿泊するホテルでした。そのすぐ前の富山城には驚かされました。そして、市内には路面電車も走っていました。富山での取材はあまり計画的でなく、時間の無駄が多かったように思います。今思えば、短期間でやり抜かねばならないので、綿密な撮影計画が必要でした。昼間に取材して、夜は編集に追われました。作品は「橋」にこだわってみました。笹津橋という橋です。短期間で思ったように表現できなかったのが悔しいところでした。他県の作品を見て、ほとんどのものが面白くユーモアをみてとることができました。それらに比べて、自分たちは少し硬い作品をつくってしまったかなと思いました。すべてを出しきれずに時間切れといったところで自分たちの大会は終わってしまいました。日頃から全国の作品を見ておくことは大事だなと思いました。辛かったところもありましたが、楽しみながら制作でき、いい経験が出来たと思います。

関係者の方々、本当に世話をになりました。

各部門の報告

将棋部門

理事長 尾崎明弘
(下関西高校教諭)

1. 第34回山口県高等学校総合文化祭将棋部門

平成24年5月26日(土)・27日(日)

防府市文化福祉会館

男子団体A 参加 6校11チーム

第1位 徳山高校A

(三吉裕太・山下真弘・大平哲也)

第2位 防府高校A

(原田達矢・福永洋佑・藤本智博)

第3位 防府高校B

(松村直樹・大村正起・溝部聖也)



女子団体A 参加 2校 2チーム

第1位 徳山高校

(木内麻莉乃・小柳美子・山根早貴)

第2位 防府高校

(大村有恵・藤原知子・篠田侑果)

団体B (男女共通) 参加 4校 6チーム

第1位 徳山高校C

(高菅駿也・山本晃平・石丸友規・藤川智之)

男子個人 参加 15校 74名

第1位 原田 達矢 (防府高校)

第2位 弘中 駿也 (新南陽高校)

第3位 秋山 宜楓 (長府高校)

木村昭太郎 (下関西高校)

敢闘賞 中野 寛史 (下関西高校)

藤川 智之 (徳山高校)

女子個人 参加 2校 6名

第1位 大村 有恵 (防府高校)

第2位 藤原 知子 (防府高校)



2. 第36回全国高等学校総合文化祭将棋部門

平成24年8月8日(木)・9日(木)

富山県小矢部市・クロスランドおやべ

男子団体 徳山高校

(三吉裕太・山下真弘・大平哲也)

予選リーグ 1勝 3敗

女子団体 徳山高校

(木内麻莉乃・小柳美子・山根早貴)

予選リーグ 2勝 2敗

男子個人

原田 達矢 (防府高校)

予選リーグ 1勝 3敗

弘中 駿也 (新南陽高校)

予選リーグ 1勝 3敗



山口県高校総文における入賞者

女子個人

大村 有恵（防府高校）
予選リーグ 2勝 2敗
藤原 知子（防府高校）
予選リーグ 2勝 2敗

3. 山口県高等学校文化連盟将棋専門部研修会
(第17回山口県高等学校将棋新人大会)

平成24年11月4日(日) 防府市文化福祉会館
男子個人 参加12校36名

第1位 秋山 宣楓（長府高校）
第2位 山下 真弘（徳山高校）
第3位 窪 健太（防府高校）
吉田 樹（徳山高校）
第5位 藤井 孝夫（徳山高校）
大平 哲也（徳山高校）

女子個人 参加3校4名

第1位 小柳 美子（徳山高校）
第2位 篠田 侑果（防府高校）
第3位 井上 茉優（下松高校）

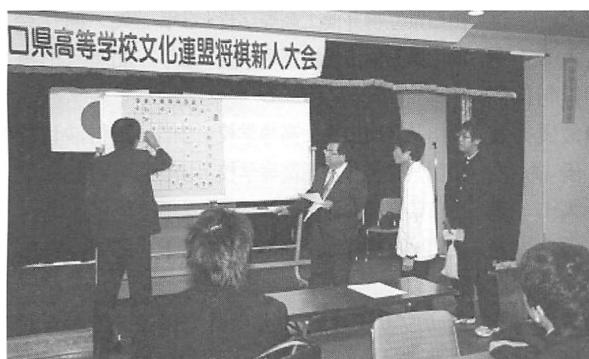
研修会（親睦戦） 参加12名

敢闘賞 厚東洋平（宇部高校）

研修会（指導対局）

指導 日本将棋連盟山口支部

北村公一氏・松本誠氏



研修会（大盤解説）の様子

4. 第11回中国地区高等学校将棋選手権大会

平成24年12月15日(土)・16日(日)
岡山市・ピュアリティまきび

男子個人 参加32名

秋山 宣楓（長府高校） 4勝 1敗（第5位）
山下 真弘（徳山高校） 2勝 3敗
窪 健太（防府高校） 2勝 3敗
吉田 樹（徳山高校） 2勝 3敗
藤井 孝夫（徳山高校） 1勝 4敗
大平 哲也（徳山高校） 3勝 2敗（第7位）

女子個人 参加14名

小柳 美子（徳山高校） 3勝 2敗（第4位）
篠田 侑果（防府高校） 2勝 3敗

5. 第20回全国高等学校文化連盟将棋新人大会
【前年度】

平成24年1月27日(金)～29日(日)
京都市・ホテル平安の森京都

男子個人

福永 晃彦（宇部高専） 予選リーグ 2勝 2敗
原田 達矢（防府高校） 予選リーグ 1勝 3敗
女子個人

大村 有恵（防府高校） 予選リーグ 4勝 0敗
決勝トーナメント 1勝 1敗（ベスト16）
木内麻莉乃（徳山高校） 予選リーグ 2勝 2敗



山口県大会における入賞者

各部門の報告

文芸専門部門

理事長 國 嶋 洋 治
(徳山商工高校教諭)

今年度の文芸部門の活動状況を報告します。

1. 全国高等学校総合文化祭富山大会

8月8日(水)から8月12日(日)の5日間、富山県黒部市を中心会場として、全国総文祭文芸部門大会が開催されました。山口県代表として、柳井商工高校3名、徳山高校2名の計5名が参加しました。大変有意義な大会でした。

2. 第14回文芸道場中国ブロック大会（山口大会）応募作品コンクール大会

今年度は山口県文芸コンクールと文芸道場の応募作品コンクールを兼ねての大会でした。

今年度1.2.3年生の応募で、散文92作品・詩作品142作品・短歌作品69作品・俳句作品64作

品・文芸誌23校の応募があり各部門最優秀、優秀、入選を梅光学院大学の先生に厳正な審査をしていただき、下記の通りの結果となりました。また今回審査員の審査によって、2013長崎総文祭に出場の推薦をしていただき、次の通りに決定しました。散文代表、西京高校 伊川加奈恵さん 詩代表、萩高校 河村祐貴子さん、短歌代表、柳井商工 朝妻愛実さん、俳句代表柳井商工 清弘希美さん、文芸誌代表、徳山高校、以上4名・1校の代表が決定しました。



第14回高校生文芸道場中国ブロック大会（山口大会）文芸コンクール受賞一覧

○散文部門

- 最優秀賞 就実高等学校 2年 河内 清貴
- 優秀賞 岡山県立岡山操山高等学校 3年 福島 有哉
- 優秀賞 山口県立徳山高等学校 3年 本田 あい
- 入選 山口県立徳山高等学校 3年 塩川 由布
- 入選 岡山県立岡山操山高等学校 2年 武野早也花

○詩部門

- 最優秀賞 山口県立萩高等学校 2年 河村祐貴子
- 優秀賞 岡山県立岡山操山高等学校 3年 小林 純香
- 優秀賞 広島県立明王台高等学校 2年 中島 智大
- 入選 山口県立柳井商工高等学校 2年 朝妻 愛実
- 入選 岡山県立勝山高等学校 3年 瀬藤 葵
- 入選 清心女子高等学校 1年 秋山 輝
- 入選 山口県立萩高等学校 2年 水津 真里



徳山高校・柳井商工参加生徒と会場の入り口で

○短歌部門

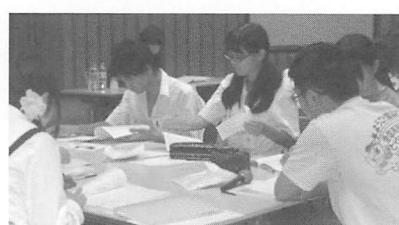
- 最優秀賞 岡山県立岡山操山高等学校 3年 三村美菜子
- 優秀賞 山口県立柳井商工高等学校 2年 朝妻 愛実
- 入選 山口県立柳井商工高等学校 3年 矢ノ浦佳奈
- 入選 岡山県立岡山操山高等学校 2年 加藤 七海

○俳句部門

- 最優秀賞 岡山県立岡山操山高等学校 2年 兼信沙也加
- 優秀賞 山口県立柳井商工高等学校 3年 黒田 彩美
- 入選 山口県立柳井商工高等学校 2年 清弘 希美
- 入選 山口県立柳井商工高等学校 3年 田中 唯

○文芸部誌部門

- 最優秀賞 「カプリチオ71」広島県立尾道北高等学校
- 優秀賞 「操苑」 岡山県立岡山操山高等学校
- 入選 「藝苑」 岡山学芸館高等学校
- 入選 「潮騒」 島根県立大社高等学校
- 入選 「漆標」 岡山県立勝山高等学校



短歌部門分科会風景

3. 第14回高校生文芸道場中国ブロック大会（山口大会）

11月24日(土)文芸道場中国ブロック大会が、徳山商工視聴覚教室で開催され、今年度は学校行事の関係上出席数が例年より少ない状況でしたが、講演会を一般開放した関係上多くの方が来場されました。講師の山崎先生の「日本近代文学に見る食卓風景」という演題は大変おもしろく、歴史的背景の中に見る文学での食卓風景の変遷をわかりやすく有意義な講演でした。この会を通じていろいろとご尽力いただいた各方面の方々にお礼申し上げます。

なお、来年度は鳥取県での開催となり文芸専門部一同優秀な作品が入賞することを願っております。

なお、全国文芸コンクールの入賞者は文芸誌で奨励賞を山口高校が入賞いたしましょかはありませんでした。

全国高等学校総合文化祭文芸部門参加報告（感想文）

山口県立柳井商工高等学校3年 末永 瑞恵
私は俳句部門に参加した。

講師の先生の挨拶があり、グループ内での自己紹介へと移った。自己紹介が終わると、そのままグループでミニゲームが行われた。たくさんの意見や感想を聞き、皆俳句についてよく知っているし、奥の深い俳句を詠んでいると感心した。そして改めて自分の未熟な部分を確認した。私も俳句についてもっと勉強したいと思った。このような会に参加出来なかったら、そう思わなかっただろう。それほど、良い経験だった。

山口県立柳井商工高等学校2年 朝妻 愛実
私は短歌部門に参加した。

分科会ではまず、四つのグループに分かれて、自由に提出短歌への意見を交換していった。私のグループでは、作者の隣に座っている人が感想、意見を述べ、その後作者が短歌の説明、次いで他の人たちの意見、感想を仰ぐ、と言う形式で行われた。皆しっかりと意見を持っていて、若干圧倒されてしまい、上手く自分の思いを説明出来なかつたことが心残りである。皆の意見を聞いていて、自分の世界はまだまだだな、と感じたし、人に何かしらの影響を与えるようなもの、心を動かすようなものを作りたいと思った。この経験は、確かに私の為になったと思う。これからも精進をしていきたい。

山口県立柳井商工高等学校3年 黒田彩美

私は詩部門に参加した。

会場に入ると、既に何名かが分けられた班ごとに着席していた。席に着くと、同じ班の人も来て、

決められた台詞のような挨拶を交わし、交流会が始まるまで話しをしていた。会が始まり、自己紹介を済ませ、一行詩というものに挑戦した。その場で考えるという経験をしたことが全くななく、とても不安が残る中、真剣に考える周りの空気に合わせ、私も懸命に考えた。

振り返ってみると、話を聞くのが精一杯で、自分からは何も発信することが出来なかつたと思う。最初は気が進まなかつたものの、いざ終えてみれば、自分の詩や物事の捉え方などについて考えるきっかけをもらったとてもいい経験だった。

山口県立徳山高等学校 3年 本田 あい

緊張しながら臨んだ総合文化祭。詩のボクシングの審査をさせてもらえて良かったと、心から強く思いました。よりいっそう、詩が好きになってしました。さらに、何と言っても私の中で印象強く残っているのは、柳井商工の友達とリレーショットで一夜を明かしたことです。柳井の二人と互いの作品を読むのと並行して、ああだこうだと頭を悩ませながら、創作にのめり込んだ一夜は眠り以上の味わいがありました。この大切な三日間を忘ることは決してないでしょう。たとえ、どんなに時が流れたとしても。

徳山高校 三年 浴 成美

この夏、私にとって恐ろしいものがまたひとつ増えた。それは形もなければ、においも味もないが、とてつもない重みがあるのだ。そう、「言葉」である。私は以前、「言葉」をただの情報伝達手段の一つであると、なめてかかっていた。だから、詩や短歌・俳句などは意味不明な単語の集合体にしか見えなかつた。そして、文芸部員であるにも関わらず、それらを理解できない自分にどこかひがんでいた。そんな私が、縁あってこの度の総合文化祭に参加することになった。私にとって最も衝撃的だったのは、他校生との交流であつた。たった三日間しか共に過ごしていないはずが、もう十年も前から知り合っているかのような気がした。

その理由はおそらく私たちには「文芸」という共通の話題があったからだろう。共通の話題があれば、共に語り合い、言葉をかけることが増える。実際、同室の他校生とは、寝る間も惜しんで話をしたほどだ。私はこの夏ほど、「言葉」が人と人をつないでいるのだと実感したことがなかつた。

私はこの度、文学の芸術性と言うよりも、「言葉」そのものの恐ろしいほどの威力を学んだ。そのせいだろうか、あんなに距離を感じていた詩や俳句、短歌といったものが、今では様々な可能性を秘めたトレジャーボックスのように思えてきた。

各部門の報告

マーチングバンド・バトントワリング部門

理事長 内田 良一
(山口県鴻城高等学校教諭)

第34回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、平成24年6月14日(木)「つなごう文化の絆を進もう創造の世界へ」というテーマのもと山口高等学校主管で山口市民会館にて総合開会式、防府市公会堂で音楽4部門発表会が開催されました。慶祝演奏では、山口県鴻城高等学校吹奏楽部がマーチングを披露しました。日本音楽や合唱、管弦楽、吹奏楽の魅力とは全く違う感動が味わえたのではないかでしょうか。

音楽4部門発表会では誠英高等学校、慶進中学校・高等学校がバトントワリングで参加いたしました。マーチングとは違って、バトンの動きや身体の表現など大変素晴らしいステージになったと思います。

山口県ではマーチングやバトンに取り組んでいる学校が少ないので、全国では大変多くの学校が取り組んでおり、最近はテレビでも多く取り上げられるようになりました。これからも、マーチングとバトンが地域の皆様に知っていただけるように、取り組んでいきたいと思います。

平成24年度山口県高等学校文化連盟マーチング



バンド・バトントワリング部門の活動状況を報告いたします。

1. 第34回山口県高等学校総合文化祭総合開会式

平成24年6月14日(木)

テーマ「つなごう文化の絆を進もう創造の世界へ」
山口市民会館大ホールにて開催されました慶祝演奏では、山口県鴻城高等学校吹奏楽部が、マーチングの演技が披露しました。

曲目「カーンイーピル9」

2. 第34回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

総合開会式の翌日、15日・16日の2日間、防府市公会堂で開催されました。本部門では、誠英高等学校、慶進中学校・高等学校、山口県鴻城高等学校の3校が参加いたしました。

3. 部門研修

平成24年度マーチング講習会が、3月20日(水)山口リフレッシュパークにて山口県吹奏楽連盟と合同主催で実施されました。



総合開会式・音楽4部門発表会にて

各部門の報告

自然科学部門

理事長 大田和子

(山口県立中央高等学校教諭)

1. 部門の報告

自然科学部門は平成23年6月全国高等学校文化連盟自然科学専門部に加盟しました。今年度は5月に本県の実態調査を兼ね、現在の活動状況を山口県高文連の全加盟校を対象に尋ねたところ、75校中20の部活動で自然科学に関する活動がなされていることがわかりました。

来年度はこの中から全国高等学校総合文化祭長崎大会に3グループが参加します。全国から集まった日頃から熱心な研究活動をしている高校生と肩を並べ、活発な意見交換がなされることを期待しています。

2. 全国高等学校総合文化祭富山大会

今年度の総文祭は水の都入善(黒部市)での開催でした。総会では年々参加数の増える研究発表をいかに運営していくかが検討されました。また、

総会の後の記念講演は、富山県出身の「ノーベル化学賞受賞者田中耕一さんの科学講座」でテーマは「自然の中で科学技術を基礎から考える」でした。残念ながら制限があり、高校生のみの入場で、我々教員は隣の公民館の視聴覚室での生中継を見る事ができました。この講演は研究現場で若々しく精力的に活躍されている様子が目に浮かぶようで、私自身のよい研修になりました。このような経験をさせていただいてとても感謝します。

平成25年度 全国高等学校総合文化長崎大会 推薦
研究発表 地学部門

山口高校 天文部

研究発表 生物部門

高川学園高校 科学部

ポスター発表

高川学園高校 科学部



各部門の報告

小倉百人一首かるた部門 (平成25年度より加盟)

理事長 河口孝

(山口県立小野田高等学校教諭)

「合同チームで初出場」

小倉百人一首かるた部門大会は、8月9日(木)~11日(土)「黒部市総合体育センター」にて、39県の代表が集結し、盛大に開催されました。山口県は合同チーム(小野田高校女子4名、下関南高校男子2名、宇部商業高校女子1名の計7名)で、県勢としては総文祭初出場でした。

9日午前中には、同宿の福島県立安積黎明(れいめい)高校からのお誘いで練習試合をおこない、全国レベルの強さを実感しました。午後から「開会式」があり、その後の「交流会」では、ゲームを楽しみながら親睦を深めました。最後に「抽選会」が行われ、山口県はEブロックで熊本県・徳島県・埼玉県との対戦が決定しました。今大会は、予選リーグ(11ブロック変則リーグ)により8チームを選出し、その8チームで決勝トーナメント戦を行い、優勝校を決定することとなっています。当然、ブロック1位通過が条件となります。しかし、強豪熊本県と埼玉県が同ブロックに入っています。初出場ながら早速作戦を立て始める生徒に感心し、この大会に賭ける意気込みを感じた次第で

す。その夜、ミーティングをもち、更に勝つための作戦を、時間をかけて話し合いました。1チーム5人制で3勝挙げた方が勝ちとなるため、直前に出場した「近江大会」での経験をふまえ、知恵を絞りあってオーダーも組みました。

10日、いよいよ本戦です。1試合約2時間、その間集中力を欠かすことができません。全試合をこなすには相当の体力・知力・集中力がいります。結果は、予選リーグ全敗でしたが、徳島戦では2-2で“生命戦”(残りの持ち札がお互い1枚になる状態)で惜しくも敗れるなど、初出場とはいえ大健闘といえる大会となり、生徒たちにとっては次のステップへの本当に大きな体験となったようです。

最後に、当部門はまだ専門部がありませんが、少人数でも文化活動を一所懸命に行い、全国を目指そうとする生徒の思いを県高文連会長にお汲みいただき、出場の運びとなりましたこと、又、会場まで応援に駆けつけさせていただきましたことに深く感謝いたしまして、報告とさせていただきます。

全国高等学校総合文化祭に参加して ～この体験を忘れない～

山口県立宇部中央高等学校
戸森 美穂

全国高等学校総合文化祭に参加できる、というお話をいただいたのは、6月頃のことでした。本校の文化祭で発表する劇の練習をしていた私たち演劇部一同は驚きました。顧問の先生の説明によると、開会式で10秒ほど山口県のアピールをするという内容なので、日頃发声練習をしている演劇部の生徒が行くといいのではないかということでした。代表は1名のみ。時期は8月。演劇の地区大会が迫って大変な時期です。けれど、新しいことが体験できるチャンス。私は言いました。「富山に行って、参加したい。」

そして、8月。新幹線で新大阪まで行き、そこからサンダーバードという電車に乗って富山に行きました。富山はどんなところなのだろうと期待に胸をふくらませ、電車に身を揺らしながら窓の外の景色を眺めていました。

富山に着いて、まず最初に思ったことは、都会と自然の調和がとれている場所だということです。展望台から見える町並み、そして遠くに見える北アルプスの山々がとてもきれいでした。私の住んでいるところも自然豊かな田舎ですが、それとはまた違った美しさがあるなと思いました。

次の日、8月8日は待ちに待った本番の日です。朝早くに会場に行き、リハーサルが行われました。昼食後、用意された席に座って本番を待っていました。そこには全国からの代表者が集まっていました。滅多に会うことのない全国の高校生。見知らぬ人たちばかりで緊張もあり、私は固くなっていました。けれど、隣の席の女の子が話しかけてくれたのをきっかけに自然と他の高校生たちとも話せるようになり、緊張も吹き飛んでいきました。そうして、いよいよ本番となり、舞台の上に立ちました。山口県のアピールの時は、少しでも山口県のことを知ってもらいたいという思いをこめて、大声で叫びました。終わった瞬間、ほっとしたの

を感じました。

その後は、観客席でいろいろな作品を鑑賞しました。福島県の竇財踊り、長崎県の創作劇「風は西から吹く」や富山県の「こきりこ」など、三県の代表によるすばらしい発表でした。また、外国からの代表として、ロシア、大韓民国、中国の学生による発表もそれぞれ迫力がありました。最後に演じられた富山県制作の構成劇は、富山の薬「六神丸」にまつわる実話をもとにしたものでした。大道具、音響、照明、どれもすばらしく、役者の演技も上手で、観客を飽きさせませんでした。

総合開会式後は、外で、マーチングバンドやバントワーリングなどのパレードを見ました。各県ごとにさまざまな表現方法があり、息のあった演奏や演技に私は見入ってしまいました。

今でもあのときのことは、胸の中に存在しています。たった10秒しか叫んでいなくても、そこで得た経験は貴重なものです。演劇では何事も経験することが大事です。そして、それを忘れずに自分のものにすることが大事です。全国総合文化祭で私はさまざまな経験をしました。その経験は決して無駄ではないと私は思います。この経験を忘れることなく、私はこれからも日々を過ごしていきたいです。



自主事業・補助事業の報告

《自主事業》【巡回演劇公演】劇団 海峡座 山口農業高等学校

伊 藤 さとみ

宮沢賢治の作品はどれも素朴な中に温かさを
持っていると思います。

今回鑑賞させていただいた「雪をわたって森」
では、「死ぬために生まれてきたのか」という問
いのケルルン先生の答えにすごく深いものを感じ
ました。

私は元々死を絶望などの悲観的なものとしてみ
ていません。むしろ、死はあらゆるものにとって
の最後の救済だと思っています。

ケルルン先生の言ったことを全てを理解してい
る自信はありません。でも、この言葉は「今」を
生きている人々に聞いてもらい、「生きる」とは
どういうことなのか考えてほしいと思う言葉でした。

シロウとカンコとキツネ達の交流はほのぼのと
していてとても楽しかったです。役者さん達も役
になりきっているのはさすがだなと思いました。

この舞台の原作である「雪渡り」や宮沢賢治の
他の作品なども読んでみたくなりました。

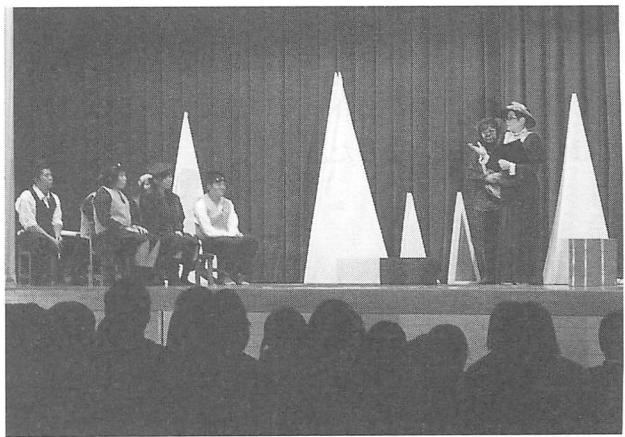
山見 遥

私は劇団の上演舞台を見るのは初めてでした。
テレビでは少し見たことがあるけど、実際に目の
前で本格的な舞台を見たことはなかったので、と
てもいい経験になりました。

劇団員の方々は、セリフを大きな声ではっきり
と言っていて、とても聞き取りやすかったです。
また、感情も込められていて物語に入り込みやす
かったです。このようにするには、すごく練習を
しているのだなと感じました。

私がこの物語で印象に残っている場面は、狐少
年学校で狐たちとケルルン先生がいろいろなこと
を学び合っているところです。狐たちの素直な質
問にケルルン先生が優しく答えていたところが、
ほほえましくて温かい気持ちになりました。大人
に近づくにつれて忘れてしまう子供の頃の不思議
や素直な心を思い出させてくれるような物語でした。

この演劇を見て、いろいろな物語も見てみたい
なと思いました。



《自主事業》【マリンバコンサート】

萩総合支援学校

伊藤 美幸

今日のマリンバコンサートを観て、改めて音楽のすごさを知りました。

もともと音楽が好きだったけど、今日の演奏を聴いて音楽がもっと好きになりました。

曲の方はほとんど知っている曲ばかりだったのでとても楽しかったです。すごかったのがマレットを4本と6本もっていることにおどろきました。こういう機会があったらまた聴きたいです。今日は本当に音楽のはずらしさを知れて良かったです。

嶋田 浩伸

今日は、水野夫婦のコンサートを聴きました。僕は、水野夫婦のコンサートは初めてだったのですごく緊張していました。僕は、マリンバを持つ手を見ながら、数えることにしました。

やっと数えきました。まずは、2つ4つ4つ2つ4つ2つ6つ4つ2つ2つ2つでした。その中でも平井堅さんの大きな古時計しか知りませんでした。

後は、マリンバを使っていた人はすごくマリンバをはやく動かすスピードがものすごい速かったものだから、ビックリしました。水野さんの奥さんもピアノが上手でした。

後は、水野さん今日は本当にありがとうございました。宿泊訓練があさってに控えているのでがんばりたいと思いました。

上永 達也

僕は、初めてマリンバコンサートを見ました。もっくんとピアノを演奏演奏してました。水野さんは、東京からきてけっこ有名な人みたいでした。知らなかったです。演奏は夫婦でやっているみたいで、奥さんがピアノで旦那さんはもっくんでした。演奏が始まって、もっくんのバチをすごい早さで打っていました。途中バチを2本でやったり3本でやったりしてすごかったです。知っている曲や知らない曲がありました。「白鳥」「大きな古時計」「ドレミの歌」などありました。お

くさんとの息がよく合ってました。途中ねむたくなりそうでしたけど、寝なかったです。でも僕のとなりにいた岡先生が寝てました。でもいい音色で眠くなります。もっくんとピアノでいい演奏ができるってすごいなと思いました。また機会があれば聴いてみたいです。

山中 寿乃

今日のマリンバコンサートでは、水野与旨久さんと水野喜子さんの生演奏が聴けて本当によかったです。

マリンバの音色がとてもきれいでびっくりしました。喜子さんのピアノの演奏もとてもはずらしく、お二人の演奏を聴いていたら、心がとてもなごみました。

ハンガリア舞曲第5番の演奏も聴けるかなと思ったけど、聴けなかったのでそれが少し心残りでした。

そして、私が一番心に残ったことは、水野与旨久さんと水野喜子さんと握手できたことです。お二人の手はとてもあたたかかったです。

今日のマリンバコンサートは、私の高校生活でとても良い思い出になりました。



《自主事業》【山口県交響楽団演奏会】

岩国総合支援学校

2年 岡本茉優花

今日は演奏をしていただきまことにありがとうございます。私は指揮者に挑戦しました。テンポが早くてとてもいい演奏になりました。とくに、一番感動した楽器はバイオリンとフルートの楽器です。後一番よかった曲は、カルメンと「運命」という曲と、他にもラデッキー行進曲とサウンドオブミュージックの曲です。とってもいい曲で楽しかったです。これからもがんばってください。

2年 行光佐生子

今日は、演奏ありがとうございます。最初は、緊張していましたが演奏を聞くと自然と落ち着いていました。音楽でなんか力があるなあと思いました。「朝」、「山の魔王の宮殿」をきいた時、



表現力が伝わってきました。演奏をきいていると眠たくなってきました。指揮者は、みんなを引っ張っていくのが大変そうだなあと思いました。これからも山口県交響楽団のみさん頑張ってください。

2年 三多田 望

2時間の間いろんな演奏をしてくださって、ありがとうございました。劇音楽「ペルーギュント」よりの「朝」は、美和中の登校する時に放送でいつも流れていたので、僕が美和中にいた時のこと思い出しました。なつかしく思いました。

ペートーヴェンは、運命のほかにも宇宙戦艦ヤマト復活編のCDにものっていたので、知っていました。

お忙しい中、本当にありがとうございました。



《自主事業》【山口県交響楽団演奏会】

奈古高等学校

昨日は生で演奏が聴けて良かったです。特にペールギュントから「朝のムード」は小学校六年間毎朝、テープ演奏で聞いていたのでとても懐かしく思えました。しかし、生演奏の方はものすごく迫力があって聴けて良かったです。

初めて見る楽器もあっておもしろかった。バイオリンが大きさが違うだけで音色が全然違うんだなと思った。コンサート聴いて癒された感じがした。

とてもまとまりがあって、すごくいいハーモ

ニーでした。スネアドラムの人はものすごく軽い音でテンポをとったり、ロールなどをしたりしていてとても憧れました。終わった後に、パーカッションの方にもご指導頂き本当に勉強になりました。ありがとうございました。

演奏を聴いて思ったことは、すごく迫力があったということです。声を大きくしたり小さくしたりで…。間近で聞いていて感動しました。一人ひとり楽器を持ち、やっているわけですが、またされたパートを見事にやり、すごかった。めったに見ることができない演奏が見られて良かったし、



聴けて良かったです。また機会があれば見てみたいですね。

昨日の交響楽団の皆さんの演奏はとても迫力があり素晴らしいものでした。

小学生の頃、同じような演奏を聴いた時より、音楽のすばらしさを感じ、音楽が持っている不思議な力も感じられたような気がしました。

指揮者の方も、顔の表情や体全体を使って指揮をしておられてかっこよかったです。

テスト週間で、勉強ばかりの毎日で少しストレスがたまっていたけれど、交響楽団の皆さんの演奏を聴くことで心が癒され、とても良い時間が過ごせました。

大人数でのオーケストラの演奏を初めて聴くことができたのでとてもうれしく思いました。選曲も私たちにわかりやすく有名な曲ばかりだったので聞いていて退屈しませんでした。とても素晴らしい演奏だったのでまた聴くことができたらいいなと思いました。

普段ああいう素晴らしい音楽を聞くことはないので、とても感動しました。私は山口の交響楽団の演奏は初めて聴きましたが、いろいろな楽器の音が合わさって、きれいな音でした。また聴きたいです。

とてもとても素晴らしい演奏で良かった。聴いていて心地よかったです、バイオリンやチェロ、コントラバスなどの楽器が組み合わさることできれいで、迫力あるメロディーが生まれることに感動しました。

山口の交響楽団を聴いたのは初めてで、とても音がきれいで良かったです。特に小太鼓の人がとてもすごくて何回も聴きたくなりました。こんな経験は多分無いのでとても良いことだなと思いました。私も知っている曲などあったので、とても楽しかった。また呼んでほしいと思いました。楽器の紹介もありよかったです。

一番に思ったことは、一つ一つの楽器の音がとてもきれいに響いていたことです。私は主にトランペットの音を聞いていましたが、高音の時も低音の時もきれいに出ていて、自分の音とは大違いだなと思いました。タンギングやアクセントもしっかりされていて本当にすごいと思いました。

耳なじみのあるクラシック曲ばかりでとても聞きやすかったです。

特にバイオリンはメロディーを弾いて目立っていました。手の動きがとても早かったり指ではじいて演奏をしていたり、動きを見るのが楽しかった。十数人で音がそろっていたのが感動的だった。

また指揮者の方はひげが印象的だった。ナレーションの方も丁寧に教えてくれたのでとてもためになった。



《自主事業》【バイオリンとチェロのコンサート】

下関短期大学附属高等学校

春田 美桜

今までピアノの生演奏なら聴いたことがあります、チェロとかは間近で見る機会がなかったのでとても良い経験だったと思います。

私はピアノを10年間しているので何曲か聴いたことのある曲があり、とても楽しかったです。ヴァイオリンはあんなに小さいのに音域が広くてびっくりしました。チェロは低めの音だったので心地よい音だと思いました。

質問タイムの時はすごく面白くて、一番印象に残ったものは、演奏中に笑ったりするのは、予想外のことでした。私も気になっていたのでとても納得しました。

情熱大陸の曲はすごいなと思いました。初めて全て聴いたのですが、盛り上がる曲だと改めて感じました。

今度からは、ピアノだけではなく、ヴァイオリンやチェロの曲も聴いてみようかなと思いました。機会があればまた聴きに行きたいと思います。



吉武 沙南

初めて生で聴きました。

想像をはるかに超えた演奏会でした。

クラシックなど全く詳しくはないのですが、鳥肌が立ち、つい聴き入ってしまいました。すごく感動してしまい思わず声が出そうになりました。なかなかこういう機会がないのですごく良い機会だなと思いました。

あれほど近くで楽器を見たことも聴いたことも

なかったので良い体験になりました。

この演奏会があると聞いたときはどうなんだろう?と思っていました。だけどこの1時間があつという間に過ぎ、まだ聴いてみたいという自分がいました。

お二人方にわざわざ来ていただきて、こんなすごい演奏をして下さってすごく嬉しく思います。また機会があれば聴きたいです。

林 ひかる

私は今日の演奏会を聴いて、ものすごく感動しました。演奏会があるって話を聞いた時は、早く終わらないかなとか、面倒だなとか思っていました。

でも、いざ聴いてみるとどの曲もとても感動するものばかりでした。一番心に響いたのが、学校の校歌と最後のアンコールの曲です。ト短の校歌はけっこう短調でわりとカンタンに弾いていたと思うけど、最後のアンコールの曲は言葉を失うほどにとてもすばらしかったです。演奏が1時間も長いなあ…、と思っていたけど、時間が過ぎていくのがとても早く感じました。今日はこんな貴重な体験ができてとてもよかったです。また、こういう機会があったらいいなと思いました。

1時間という短い時間の中で、今日の演奏はとても心に残るものになりました。



山口県高等学校文化連盟自主事業実施校一覧 (No.1)

数字は実施年度(62～63は昭和、1～24は平成)、※は今年度実施予定、(定)は定時制、(分)は分校

番号	事業 学校	ピアノ	マリンバ	フルート・ デュオコンサート	胡弓打楽器・トランペット	尺八と琴・ オペレッタ	交響楽団	演劇	金管合奏 みんなど deリズム	ソプラノ電 子オルガン	リコーダー・ ヴァイオリンとチェロ
1	周防大島	63				7	3,4,10	10,21			
2	岩国								1		
3	岩国総合						11		1		
4	坂上			63	11		5	3			
5	広瀬		14	63			17	20		21	
6	高森						2				
7	岩国商業			3				62,15			
8	岩国工業						2	6,8			
9	柳井						7	11			
10	柳井商工						11,14	1,4,11,14			
11	熊毛南	63					6,17	12,24			19(分)
12	田布施農業					15(分)	3,18	5,24			18(分)
13	田布施工業						20	16			
14	光	63					8,23	17	定20		
15	光丘						8,11	14			
16	下松	63			12	7	15				
17	華陵	63					8	1			
18	下松工業						1				
19	熊毛北						2,14	63,7			
20	徳山		4(定)		10(定)	8(定)	15	12			
21	徳山北		63				4,11	8		21	
22	鹿野		3		10		9	1,16			
23	新南陽	63					22	5,14			
24	徳山商工		5	63				3,4,7	1		
25	南陽工業		1				62				
26	防府										
27	防府西						10		1		
28	防府商業		63(定)				12	6	1		
29	佐波			63		7					
30	山口		62(定),16(定)			15(定)	2				
31	山口中央	63	12		10	13					
32	西京	62					4	7			
33	山口農業						5,21	3,24			
34	字部	63									
35	字部中央		1(定)			14(定)	10,19	63			
36	字部西						14	10,23			
37	字部商業			63			62,6	3			
38	字部工業		13	2			8				
39	小野田		63(定)	19(定)				22			
40	厚狭			1			15,21	9,18			
41	小野田工業		63(定)					4			
42	美祢	62	23		9		4	2		18	
43	青嶺						63	10			22
44	田部						1,13	18,20			
45	西市						63	22			
46	豊浦										
47	長府								1		
48	下関西										
49	下関南										22
50	響		5				1				

山口県高等学校文化連盟自主事業実施校一覧 (No.2)

数字は実施年度(62～63は昭和、1～24は平成)、※は今年度実施予定、(定)は定時制、(分)は分校

番号	事業 学校	ピアノ	マリンバ	フルート・ デュオコンサート	胡弓打楽器・トランペット	尺八と琴・ オペレッタ	交響楽団	演劇	金管合奏 みんなdeリズム	ソプラノ電子オルガン	リコーダー・ ヴァイオリンとチェロ
51	豊北	62						3	15,22		
52	下関中央工業							12	6		
53	下関工業	62							2		
54	大津	63						12	5		
55	日置農業	63	5		15	9	19	2,13,23			
56	水産							12			
57	萩	63						3	6		
58	萩商工	63						6,7,16	2,4,9,12,17,23		
59	徳佐			63(分)				63,10,20	13		
60	奈吉		17(分)			11		1,9,24			
61	下関中等教育								5		
62	岩国総合支援		3,13		16			24	10,19		
63	田布施総合支援		6	17				62			
64	周南総合支援		15	17						20	
65	徳山総合支援		11	1							
66	防府総合支援	62	3	63	12			16			
67	山口南総合支援										
68	山口総合支援			19				14			
69	宇部総合支援		63,5,14					1,9	18		
70	下関南総合支援	63	3		16	8,10	7	1			
71	下関総合支援		2,6					16			
72	豊浦総合支援		11,16			13		19,21			23
73	萩総合支援		6,24								
74	下関商業			14(定)							
75	高水								62		
76	柳井学園		6						63		
77	聖光							2			
78	山口県桜ヶ丘										
79	誠英								7,9		
80	高川学園										
81	中村女子	63						2,5,22	11,16		
82	野田学園	63							18		
83	山口県鴻城							10	12,15		
84	宇部鴻城							7	9		
85	慶進								23		
86	成進										
87	宇都ロンティア香川							1,5,15	11,19		
88	サビエル										
89	早鞆										
90	下関短期大学付属	62,63	4			7		8			24
91	長門							6			
92	萩光塩学院										

ピアノ……………弘中 孝
マリンバ……………水野与旨久
フルート……………西田直孝トリオ
胡弓……………姜建華・楊宝元
トランペット……………田宮堅二
尺八と琴……………中村明一、八木美知依
オペレッタ……………木月京子、ひとりオペラ
交響楽団……………山口県交響楽団

演劇……………劇団のんた、宇都芸術座、劇団海峡座
金管合奏……………東京金管五重奏団
打楽器……………韓国の太鼓と踊り
デュオコンサート……………三輪 郁、菅沼ゆづき
ソプラノ……………鶴木絵里
リコーダー・リュート……………吉沢 実、永田平八
電子オルガン……………神田 将
みんなdeリズム……………フランシス・シルヴァ

第24回全国高等学校文化連盟研究大会（山口大会）概要報告

山口県高等学校文化連盟 事務局長 西 村 正 浩

本大会は下記要項により、平成24年12月6日、山口県下関市において開催されました。全国より多数の参加をいただき、盛会のうちに終了できましたことに、改めて感謝申し上げます。

以下、大会の概要を記し、報告とさせていただきます。

I 開催要項

1 趣 旨

各都道府県高等学校（芸術）文化連盟指導者等の参集を得て、日頃の組織運営上の問題および文化部活動の研究成果を発表し、さらに当面する問題について情報交換を行い、全国および各都道府県における高等学校文化部活動の振興と発展に資する。

2 主 催

公益社団法人全国高等学校文化連盟

3 後 援

文化庁 山口県 山口県教育委員会

公益財団法人日本教育公務員弘済会山口支部

公益財団法人山口県ひとづくり財団

4 協 賛

財団法人一つ橋文芸教育振興会

社団法人下関観光コンベンション協会

5 主 管

山口県高等学校文化連盟

中国高等学校文化連盟

6 期 日

平成24年12月6日（木）



7 会 場

海峡メッセ下関（財団法人山口県国際総合センター）

山口県下関市豊前田町3-3-1

TEL 083-231-5600

8 大会主題

「創造性豊かな文化芸術活動を目指して」

9 公演と講演

・ちひろコンサート～こだまするこころ～
ちひろ（歌手・作曲家）

・みんなちがって、みんないい。
～みすゞさんのうれしいまなざし～
講師 矢崎 節夫
(金子みすゞ記念館館長・児童文学学者)



10 日 程

10：00～10：30 受付

10：30～10：50 開会行事

開会宣言

実行副委員長 中村 芳喜
あいさつ

全国高等学校文化連盟会長
須貝 竹志

祝辞

山口県教育委員会教育次長
竹本 芳朗

歓迎のことば

実行委員長 松井 誠
来賓紹介

実行副委員長 松根 健治

11:00~11:40 発表・研究協議1
(岡山県高等学校文化連盟)
11:40~12:30 昼食休憩
12:30~13:10 発表・研究協議2
(島根県高等学校文化連盟)
13:20~14:00 発表・研究協議3
(山口県高等学校文化連盟)
14:10~14:50 記念公演
15:00~16:10 記念講演
16:15~16:30 閉会行事
　　あいさつ
　　全国高等学校文化連盟会長
　　須貝 竹志
　　次期開催県あいさつ
　　秋田県高等学校文化連盟会長
　　星野 滋
　　お礼の言葉・閉会宣言
　　実行副委員長 中村 芳喜

11 司会者

古川 恵子(TYSテレビ山口アナウンサー)

12 発表

II 発表・研究協議 参照

13 参加状況

来賓 3名

山口県教育委員会教育次長 竹下 芳朗

同 高校教育課指導主事 安村祥二郎

山口県高等学校校長協会会长 川野あきら

参加者 156名

実行委員 8名

運営委員 17名

14 大会事務局

第24回全国高等学校文化連盟研究大会山口県
実行委員会事務局 (山口県高等学校文化連盟事務局)
〒753-0043 山口県山口市宮島町6-1
山口県立山口中央高等学校内
TEL 083-922-0032 FAX 932-0813
メール info@yamaguchi-koubunren.com

II 発表・研究協議

発表1

岡山県高等学校ダンス部会の活性化を目指して 実践報告
岡山県高等学校文化連盟 ダンス専門部

岡山県総社南高等学校 教諭 青山敦子

岡山県では1987年に高文連が設立されてからダンス専門部として加盟している。ダンス部は高体連に所属していたり、あるいはどこにも属さず活動していたり様々だが、そのような状況の中で平成4年から近県高等学校ダンス交流発表会を開催し、京都や高知、佐賀からも参加を得て活動している。

また、県下のダンス活動向上のため、昭和45年に設立された岡山県高等学校ダンス協議会も、現在では24校約600名の会員数となった。県高総文祭に参加したり、指導者講習会や地区別交流ダンス発表会などを開催しダンスの普及に努めている。また、発表者が顧問を務める総社南高校は、全国高等学校ダンス選手権大会へ9年連続出場し、優勝もした。また、世界大会へも3回出場し、アメリカ大会では2回優勝するなど実績をあげている。ダンス専門部が全国統一した組織として高文連に所属するのは現時点では困難だが、多くの人々に認知してもらうために、全国高文祭では協賛種目



としての参加を望んでいる。

発表2

「人文社会科学部門(仮称)創設に向けての提言」

島根県高等学校文化連盟 社会科学専門部

島根県立浜田高等学校 教諭 阿部 志朗

島根県高文連の歴史は古く、昭和26年（全国3番目）に設立された。社会科学部門もその設立当初から活動しており、地域の諸事象について高校生が調査研究に取り組んできた。その後加盟校、部員数の減少が著しいが、平成19年に開催された全総文祭島根大会のような全国大会においては部員・顧問の意欲も増し、参加も増えた。部活動の振興のためには、全国大会の開催が不可欠と言える。企業や大学が主催する高校生の人文社会科学



系の研究コンクールはいくつかあり、高校生の参加も多い。しかしレポート審査中心であるので、口頭発表や生徒相互の交流の場は少ない。これらを踏まえ、次のことを提言したい。

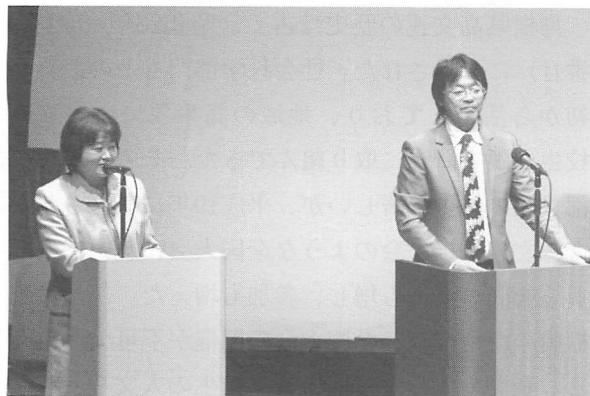
①現在の全国高総文祭の協賛部門を全国高文連の直轄部門として開催する。②開催県で会場を設定し、事務処理・運営はこれまでの高文連加盟の都道府県の輪番で行う。③都道府県高文連加盟校と高文連未加盟の都道府県の学校とは、参加費等で区別する。④参加資格として、都道府県高文連加盟校は各都道府県予選実施、高文連未加盟の都道府県の学校は事前提出のレポート（要旨）で加盟校顧問が事前審査する。

発表3

「美術部におけるマンガ・イラストの指導と展開」

山口県高等学校文化連盟 美術・工芸専門部
下関商業高等学校 教諭 宮崎龍次

小中学校における大幅な授業時数の削減により、描写力や構成力、レタリングや着彩の技術、色彩の知識や技能を身につけさせることが困難になっている。美術能力は実際には練習量=描く経験の量が、これらの能力の高さに比例する。幼少期はただ褒めることで子どもは絵の好きな子どもに育つ。「描写の壁」と呼ばれる発達段階（より本物のように描きたい自分と、描けない自分の存在に気づく）にある小学校高学年から、「描写力」を決定づける発達段階である中学校で授業時数の削



減が著しく、美術能力が育たない。さらに授業時間内では作品を完成させることができないので、先生のお気に入りだけが「宿題」と称した持ち帰り制作をさせられることにより能力が高まるといった、美術能力の格差問題が生ずる。

現在はサブカルチャーの影響を受けた生徒が多いので、美術部顧問にサブカルチャーへの深い理解と、そこからの発展が期待できる指導力が必要となっている。幸い、我が国はマンガなどのサブカルチャーを芸術として扱う文化がある。今後は学校美術教育が、サブカルチャーと純粋美術の境界を取り扱う役割も担うことになるだろう。

III 記念公演・講演

1 記念公演

「ちひろコンサート～こだまするこころ～」

ちひろ（歌手・作曲家）

山口市出身の歌手・作曲家のちひろさんをお招きして長門市出身の童謡詩人金子みすゞさんの詩に自ら作曲した「大漁」、「私と小鳥と鈴と」などの作品をピアノの弾き語りをまじえて歌っていただきました。ちひろさんの澄んだ歌声で金子みすゞの詩の世界にひたるひとときを

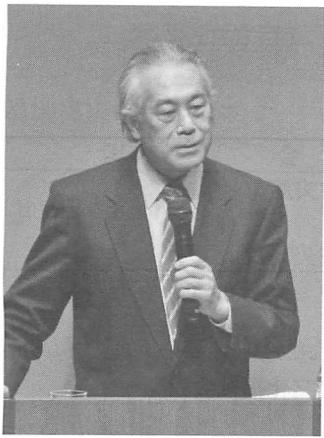


過ごすことができました。

2 記念講演

「みんなちがって、みんないい。」

～みすゞさんのうれしいまなざし～
金子みすゞ記念館館長・児童文学学者 矢崎 節夫
金子みすゞの512編の詩の宇宙の中で『大漁』が太陽なら、『こだまでしょうか』が、その周囲をめぐる惑星であると私は思っている。その二つを含め、みすゞの詩は現在、21ヶ国語に翻訳され、国境を越えて多くの人々の心に響いている。



『こだまでしょうか』という作品は、「あなた」という他の存在がいて、初めて「わたし」という自己の存在があるということを私たちに伝えてくれる。「あなた」がいなければ「わたし」は存在しないという「真理」。それは即ち、この子が生まれてこなければ私は親になれなかつたというよう

に、視点を変えることの大切さに気づかせてくれるるのである。視点=まなざしを変えたとき、大切なものが見えてくる。

金子みすゞの復活（再評価）は、言葉のよみがえりでもある。私たちは言葉がいかに大切かを教えなければならない。言葉は自己と他者を、自己を世界に結びつけるための重要なツールなのだから。「わかる」ということは「かわる」ことであり、「わからない」ということは「かわれない」ということである。ならば教師は、「かわれない子を放っていないか？」と、常に自問すべき職業であると言えるだろう。

『わたしと小鳥と鈴と』という詩は、できないこと、知らないことばかりの世界にわたしたちがいることを教えてくれる。だから、できるようになることが喜びになるのだと。できること、わかることが「まなざし」を変える。知らないことばかりだから、知ることが喜びになる。みすゞの詩は、私たちの世界観を変える。それは、みすゞの詩が、それ自体ひとつのコスモス（宇宙）であるということである。

『大漁』は私にとって、「まなざし」を根底から変えてくれた作品である。「わたしと鰯」だったものが、「鰯とわたし」に変わった。命として「等価」である「鰯とわたし」。この世の中は、すべて一つで完結しているものではなく、二つあって、一つなのかもしれないということ。他者への「気づき」ということを、この作品は教えてくれた。

『つち』という詩は問いかけてくる。自分は他

者を傷つけていないか?自分中心の「まなざし」になっていないか、と。「地球にやさしく」とは傲慢な言葉なのかもしれない。「地球はやさしい」のである。すべてのものは存在するだけで役に立っている。教室は融点が違う子の集まりである。そのことを知った上で自分の融点を上げることが教師の仕事なのだろう。

私たち、みすゞの詩を愛する者は「被災者」という言葉を使わない。「代受苦者」という言葉を使う。私が受けていたかもしれない苦しみを代わりに受けてくれた人ということである。自分のことばを一番はじめに聞くのは「自分」である。そのことを知っていれば悪口など言えないだろう。やさしい言葉を相手に言うと、自分が最初にうれしくなるのである。そして言葉を減らすと思考が減る。「おはようございます」といわれたら、「おはようございます」と「こだま」を返すべきである。言葉を減らしてはいけない。自己と他者へ、思いやりのある声（ことば）をかけることが大切である。

被災者へのインタビューの中で一番欲しいものを聽かれた時、大人たちが住まいや食料と答える中で、一人の子どもが「ともだちの命」と答えた。その言葉は「生かされている」という「まなざし」を持つことの大切さを教えてくれるが、わたしたち大人はそのことを忘れていないか?

五年くらい前から「こどもたちは宝」という言葉を聞かなくなつた。自分がどんなに大切な存在かを知らなくて他人を大切にできるだろうか。もし、子どもがいなくなつたら、新しい命が生まれなくなつたらと、考えてみよう。命を未来へ運んでくれる子どもがいるからこそ、私たちは生きていけるのである。そう思えば「まなざし」が変わり、生き方が変わる。

最後に、高校生にもぜひ、みすゞの詩を聽かせてあげてください。

平成24年度 山口県高等学校文化連盟 事業報告

※斜体は事務局関係

月	日	事業	会場
4	11	会計監査 平成23年度「高文連会報」発行	山口中央高校
	18	第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校
5	11	高文連評議員会 平成23年度集録「高文連」発行	山口市：セントコア山口
	22	全国高等学校文化連盟定時総会	東京：ホテルフロラシオン青山
	26 ~ 27	県高校総合文化祭（将棋部門）	防府市文化福祉会館
6	10	補助事業「ピアノデュオコンサート」	萩高校
	14	第34回県高校総合文化祭総合開会式	山口市民会館
	15 ~ 16	県高校総合文化祭音楽4部門発表会	防府市公会堂
	16	県高校総合文化祭（日本音楽部門）	菊川町ふれあい会館アブニール
	20	自主事業：山口県交響楽団演奏会	阿武町民センター（奈古高校）
	22	自主事業：青少年劇場小公演「ヴァイオリンとチェロのコンサート」	下関短期大学付属高校
	29	第23回中国地区高文連関係者合同会議	島根県：ビッグハート出雲
7	5	自主事業：山口県交響楽団演奏会	岩国総合支援学校
	19	自主事業：巡回演劇（劇団のんた）	熊毛南高校
8	8 ~ 12	（社）全国高等学校文化連盟各専門部会	富山県
	8 ~ 12	第36回全国高等学校総合文化祭	富山県
	9	（社）全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	富山県：富山市
	25 ~ 26	第22回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	東京：国立劇場大劇場
9	24	自主事業：青少年劇場小公演「マリンバ・コンサート」	萩総合支援学校
	27	自主事業：巡回演劇（劇団のんた）	田布施農工高校
10	20	県高校総合文化祭（芸芸部門）	徳山商工高校
	21	県高校総合文化祭（囲碁部門）	宇部高校
	26	自主事業：巡回演劇（劇団海峡座）	山口農業高校
	26 ~ 28	県高等学校総合文化祭（演劇部門）	下関市民会館
11	10 ~ 11	山口県中学校文化連盟総合開会式	山陽小野田市文化会館
	16 ~ 18	県高校総合文化祭展示3部門（美術・工芸、書道、写真）	山口市民会館
	24	第1回高文連専門部理事長会	山口中央高校
	23 ~ 24	第14回高校生芸道場中国ブロック大会（兼：県高校総文芸部門）	山口県：徳山商工高校
		第50回中国地区高等学校演劇発表会	山口県周南市：周南文化会館
12	6	第24回全国高等学校文化連盟研究大会（山口大会）	下関市：海峡メッセ下関
	7	全国高等学校文化連盟実務担当者会議	下関市：海峡メッセ下関
	23 ~ 24	第16回中国高等学校囲碁選手権大会	山口県山口市：YICスタジオ
2	1	第2回高文連専門部理事長会	山口中央高校
	21	第2回高文連企画運営委員会	山口中央高校
3	15	平成24年度中国地区高文連実務担当者会議	島根県：浜田高校
	30	第32回器楽・管弦楽スプリングコンサート	山口市民会館
【その他】 県高校総合文化祭準備（実行）委員会			
総合開会式・音楽4部門発表会（山口高校）			
展示3部門（関係専門部）			
演劇部門（下関南高校）			
囲碁部門（宇部高校）			
放送部門（熊毛南高校）			
将棋部門（下関西高校）			
芸芸部門（徳山商工高校）			
※以上、主管校等を中心に開催予定			
各専門部会………部会長校を中心に開催予定			
各専門部研修会…県下各地において開催予定			
※全国高等学校文化連盟研究大会（山口大会）実行委員会			
※巡回演劇教室3公演、巡回音楽教室（山響）2公演			
※補助事業1公演			

平成24年度 山口県高等学校文化連盟会計決算書

収入総額	¥19,145,959-
支出総額	¥15,960,268-
差引残高	¥3,185,691-

{収入の部}

(単位:円)

区分	予算額	決算額	増減(減△)	摘要
繰越金	1,975,512	1,975,512	0	
加盟費	12,354,000	12,389,050	35,050	
(内訳)				全日制350円×34,897人 定時制・総合支援学校 50円×1,402人 学校負担金 100円×1050学級
補助金	3,584,000	3,887,261	303,261	
(内訳)	584,000 3,000,000	584,000 3,303,261	0 303,261	県総文祭補助金 全総文祭補助金
繰入金	0	887,384	887,384	特別会計より
雑収入	6,488	6,752	264	研究大会研究調査費 預金利息
合計	17,920,000	19,145,959	1,225,959	

{支出の部}

(単位:円)

区分	予算額	決算額	残額(超過△)	摘要
運営費	1,175,000	1,235,532	△ 60,532	
(内訳)				
事務用品費	400,000	482,617	△ 82,617	事務機器維持費 事務用品等 ホームページ制作費
通信費	250,000	228,315	21,685	電話 郵便 運送料等 傷害保険料
分担金	525,000	524,600	400	全国高文連会費 賛助会費 中国高文連分担金 山口県文連会費
会議費	1,500,000	1,323,694	176,306	全国(県外)会議 県内会議 研究大会参加費 会議用お茶 中国地区会議
事業費	14,349,000	12,401,042	1,947,958	
(内訳)				
県総文祭	5,567,000	4,338,894	1,228,106	総合開会式 各部門大会開催費
全総文祭	3,900,000	3,466,680	433,320	生徒旅費補助 引率旅費補助 運送費 参加負担金
自主事業	1,782,000	1,662,000	120,000	自主事業7公演 补助事業1公演
大会補助金	450,000	450,000	0	特別支援学校文化祭 中国大会(演劇、文芸、囲碁)補助金
専門部会費	2,310,000	2,171,516	138,484	通信費 全国分担金 研修費 役員旅費保険
印刷費	320,000	305,182	14,818	集録 会報 県総文連会費 封筒
中高連携費	20,000	6,770	13,230	中高文連交流事業
調整基金	500,000	1,000,000	△ 500,000	
予備費	396,000	0	396,000	
合計	17,920,000	15,960,268	1,959,732	

調整基金会计決算書

(単位:円)

前年度繰越	一般会計から繰入	決算額
7,900,000	1,000,000	8,900,000

上記の通り相違ありません

平成25年々月//日

監事

山本貴司
直山

監事
直山

平成24年度 山口県高等学校文化連盟特別会計決算書

収入総額	¥1,700,995-
支出総額	¥1,700,995-
差引残高	¥0-

{収入の部}

(単位:円)

区分	予算額	決算額	増減(減△)	摘要
繰越金	1,700,647	1,700,647	0	
雑収入	353	348	△ 5	預金利息
合 計	1,701,000	1,700,995	△ 5	

{支出の部}

(単位:円)

区分	予算額	決算額	残額(超過△)	摘要
負担金	800,000	162,851	637,149	
運営費	700,000	650,760	49,240	
(内訳)				
事務用品費	680,000	649,290	30,710	事務用品、パソコン
通信費	20,000	1,470	18,530	振込手数料
一般会計へ繰出	0	887,384	△ 887,384	
予備費	201,000	0	201,000	
合 計	1,701,000	1,700,995	5	

上記の通り相違ありません

平成25年 4月 11日

監事

山本 貴司

監事

植山

平成25年度 山口県高等学校文化連盟 事業計画

月	日	事業	会場
4	11	会計監査 平成24年度「高文連会報」発行	山口中央高校
	18	第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校
5	10	高文連評議員会 平成24年度集録「高文連」発行	山口市:セントコア山口
	21	自主事業 巡回演劇「宇部芸術座」	大津緑洋高校日置校舎
	25 ~ 26	県高校総合文化祭(将棋部門)	防府市文化福祉会館
	28	公益社団法人全国高等学校文化連盟定時総会	東京:ホテルフロラシオン青山
6	11	自主事業「青少年劇場小公演 ヴァイオリンとチェロのコンサート」	山口高校徳佐分校
	13	第35回県高校総合文化祭総合開会式	宇部市渡辺翁記念会館
	14 ~ 15	県高校総合文化祭音楽4部門発表会	宇部市渡辺翁記念会館
	15	県高校総合文化祭(日本音楽部門)	シンフォニア岩国
	17	自主事業「山口県交響楽団演奏会」	下関南総合支援学校
	17	自主事業「山口県交響楽団演奏会」	下関工業高校
	28	第24回中国地区高文連関係者合同会議	鳥取県米子市:
7	31 ~ 4	(公社)全国高等学校文化連盟各専門部会	長崎県
	31 ~ 4	第38回全国高等学校総合文化祭	長崎県
8	1	(公社)全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	長崎県:長崎市
	20	全国中学校総合文化祭(山口大会)※県大会を兼ねる	山口市民会館
	24 ~ 25	第24回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	東京:国立劇場大劇場
10	1 ~ 6	県高校総合文化祭(美術・工芸部門)	下関市立美術館
	3	自主事業 巡回演劇「劇団海峡座」	小野田高校
	4	自主事業「青少年劇場小公演 マリンバコンサート」	周防大島高校
	18	県高校総合文化祭(文芸部門)	徳山高校
	21	自主事業 巡回演劇「劇団のんた」	新南陽高校
	27	県高校総合文化祭(囲碁部門)	宇部高校
	25 ~ 27	県高等学校総合文化祭(演劇部門)	山陽小野田市文化会館
11	7 ~ 10	県高校総合文化祭(写真部門)	新南陽ふれあいセンター
	8 ~ 10	県高校総合文化祭(書道部門)	山口市民会館
	9	県高校総合文化祭(放送部門)	ニューメディアプラザ山口
	第1回高文連専門部理事長会	山口中央高校	
12	5	第25回全国高等学校文化連盟研究大会(秋田大会)	秋田市:秋田キャッスルホテル
	~ 6	全国高等学校文化連盟実務担当者会議	秋田市:秋田キャッスルホテル
1		山口県中文連・高文連合同調査研究打ち合わせ会	山口中央高校
2		第2回高文連専門部理事長会	山口中央高校
		第2回高文連企画運営委員会	山口中央高校
3	14	平成25年度中国地区高文連実務担当者会議	鳥取県米子市:米子西高校
	29	第33回山口県高等学校 器楽・管弦楽スプリングコンサート	防府市地域交流センター アスピラート

【その他】 県高校総合文化祭準備(実行)委員会

総合開会式・音楽4部門発表会(宇部中央高校・宇部地区)
 美術・工芸部門(下関商業高校)、書道(山口高校)、写真(新南陽高校)
 日本音楽、吟詠部門(下関短大付属高校)
 囲碁部門(宇部高校)
 将棋部門(下関西高校)
 文芸部門(徳山高校)

※以上、主管校等を中心に開催予定
 各専門部会………部会長校を中心に開催予定
 各専門部研修会…県下各地において開催予定

※巡回演劇教室3公演、巡回音楽教室(山響)2公演
 ※青少年劇場小公演2公演

平成25年度 山口県高等学校文化連盟会計予算書

収入総額	¥19,740,000-
支出総額	¥19,740,000-

{収入の部}

(単位:円)

区分	予算額	前年度予算額	増減(減△)	摘要
繰越金会費	3,185,691 12,179,800	1,975,512 12,354,000	1,210,179 △ 174,200	
(内訳)	12,005,000 70,000 104,800	12,180,000 69,000 105,000	△ 175,000 1,000 △ 200	全日制350円×34,300人 定時制・総合支援学校 50円×1400人 学校負担金 100円×1048学級
補助金	4,244,000	3,584,000	660,000	
(内訳)	584,000 3,660,000	584,000 3,000,000	0 660,000	県総文祭補助金 全総文祭補助金
参加負担金	129,000	0	129,000	全総文祭
繰入金	0	0	0	
雑収入	1,509	6,488	△ 4,979	定期利息
合計	19,740,000	17,920,000	1,820,000	

{支出の部}

(単位:円)

区分	予算額	前年度予算額	増減(減△)	摘要
運営費	2,275,000	1,175,000	1,100,000	
(内訳)				
事務費	400,000	400,000	0	事務機器維持費 事務用品 ホームページ維持管理費
通信費	250,000	250,000	0	電話 郵便 運送料等 傷害保険料
分担金	525,000	525,000	0	全国高文連会費 貢助会費 中国高文連分担金 県文連会費
賃金	1,100,000	0	1,100,000	事務補助賃金
会議費	1,600,000	1,500,000	100,000	全国(県外)会議 県内会議 会議用お茶 中国地区会議 研究大会参加費
事業費	14,487,000	14,349,000	138,000	
(内訳)				
県総文祭	6,128,000	5,567,000	561,000	総合開会式 各部門大会開催費
全総文祭	4,000,000	3,900,000	100,000	生徒旅費補助 引率旅費補助 運送費 参加負担金
自主事業	1,782,000	1,782,000	0	自主事業7公演 補助事業3公演
大会補助金	50,000	450,000	△ 400,000	特別支援学校文化祭
専門部会費	2,187,000	2,310,000	△ 123,000	通信費 全国分担金 研修費 役員旅費保険
印刷費	330,000	320,000	10,000	集録 会報 県総文連会報 賞状
中高連携費	10,000	20,000	△ 10,000	中高文連交流事業
調整基金	500,000	500,000	0	
予備費	878,000	396,000	482,000	
合計	19,740,000	17,920,000	1,820,000	

平成25年度 調整基金会计予算書

前年度繰越	一般会計から繰入	今年度未残高
8,900,000	500,000	9,400,000

山口県高等学校文化連盟規約

昭和62年4月1日制定
平成元年4月1日改正
平成2年4月1日改正
平成3年4月1日改正
平成4年4月1日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成9年4月1日改正
平成15年4月1日改正
平成16年4月1日改正
平成18年4月1日改正
平成20年4月1日改正
平成21年4月1日改正
平成22年4月1日改正
平成23年5月6日改正
平成25年5月10日改正

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この連盟は、山口県高等学校文化連盟と称する。

(事務局)

第2条 本連盟の事務局を山口市宮島町6番1号山口中央高等学校に置く。

(目 的)

第3条 この連盟は、高等学校における生徒の創造活動の向上充実を図り、文化活動の健全な発展と芸術文化の振興に資することを目的とする。

(事 業)

第4条 この連盟は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 山口県内の高等学校による文化行事の開催に関する事業。
- (2) 全国高等学校文化連盟が主催する行事への派遣に関する事業。
- (3) 芸術文化に関する研修会、講習会、鑑賞会、講演会等の開催に関する事業。
- (4) 高等学校等の文化活動に関する調査研究事業。
- (5) 高等学校による文化活動の国際交流に関する事業。
- (6) その他前条の目的の達成に必要な事業。

(組 織)

第5条 この連盟は、山口県内の公立及び私立すべての高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下、「高等学校」という。）並びに高等部を設置している特別支援学校をもって組織する。

2 山口県内を七つの地域に分け、地域ごとに連合体を組織することができる。この場合において、地域の区分は、山口県高等学校校長会の区分と同じものとする。

第6条 この連盟に、次の専門部を置く。

2 演劇、器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・バトントワリング、日本音楽、吟詠
剣詩舞、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、放送、文芸、自然科学、小倉百人一首かるたの各部門とする。

第2章 役 員

(役 員)

第7条 この連盟に次の役員を置く。

- | | |
|------------|-----------|
| (1) 会長 | 1人 |
| (2) 副会長 | 若干人 |
| (3) 評議員 | 各加盟校ごとに1人 |
| (4) 支部長 | 7人 |
| (5) 専門部会長 | 16人 |
| (6) 専門部理事長 | 16人 |
| (7) 監事 | 2人 |
| (8) 参与 | 若干人 |

(役員の選出)

第8条 役員の選出は、次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、評議員の互選により選出する。
- (2) 評議員は、加盟校の校長をもって充てる。
- (3) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、各地域及び専門部の推薦に基づき、会長が委嘱する。
- (4) 監事及び参与は評議員会の推薦に基づき、会長が委嘱する。

2 役員の兼任は妨げない。

(役員の職務)

第9条 役員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、この連盟を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは会長が欠けたときはその職務を行う。
- (3) 評議員は、評議員会に出席し、この連盟の事業について審議する。
- (4) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、企画運営委員会を構成し、この連盟の会務を審議し、執行する。
- (5) 監事は、会計を監査する。
- (6) 参与は会長の諮問に応ずる。

(役員の任期)

第10条 役員は高等学校等に在職する者とし、その任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは、必要に応じて補充する。ただし、任期は、前任者の残任期間とする。

第3章 会 議

(会 議)

第11条 この連盟の会議は、次に掲げるとおりとし、会長が必要に応じてこれを招集する。

- (1) 評議員会
 - (2) 企画運営委員会
 - (3) 理事長会
- 2 会議の議長は、会長がこれに当たる。
- 3 会議は、構成員の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。
- 4 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決定する。
- 5 会議に出席できない構成員は、代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2項の規定の適用については、会議に出席したものとみなす。

(評議員会)

第12条 評議員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 規約の制定及び改廃に関する事項
- (2) 予算及び決算に関する事項
- (3) その他、連盟の運営に係わる重要事項

(企画運営委員会)

第13条 企画運営委員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 評議員から委任された事項
 - (2) 会務の運営及び執行に関する事項
 - (3) その他、連盟の運営に係わる軽易な事項
- 2 企画運営委員会に事業の運営及び執行のために委員会を置くことができる。
- 3 委員会は、事業を主管する校長を委員長とし、委員として当該事業担当の教職員若干人及び専門教職員をもってこれに充てる。
- 4 委員会の委員の任命及び委員会議の招集は、委員長が行うことができる。

(理事長会)

第14条 理事長会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 企画運営委員会から委任された事項
- (2) その他各専門部の運営に係わる事項

第4章 会計

(経費)

第15条 この連盟の経費は、各高等学校等の加盟費、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第16条 この連盟の収支予算は、評議員会の決議により定め、収支決算は、会計年度終了後、監事の監査を経て次の評議員会でその承認を得なければならない。

(会計年度)

第17条 この連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計経理)

第18条 この連盟の会計経理の手続きについては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第5章 事務局

(事務局)

第19条 この連盟の事務を処理するため、事務局を置く。

(運営)

第20条 事務局の運営に関しては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第6章 雜則

第21条 この連盟の規約の施行について必要な事項は、評議員会の議決を経て、別に定める。

附 則

この規約は、昭和62年4月1日から施行する。

山口県高等学校文化連盟諸規程

[会計規程]

昭和62年4月1日制定
平成4年4月1日改正
平成5年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成20年4月1日改正
平成23年5月6日改正

第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、会計経理に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条 すべての収入、支出は予算に計上しなければならない。

第3条 会長は、收支予算書及び事業計画書の案を作成し、これを評議員会に提出しなければならない。

第4条 会計経理は、収入科目、支出科目及び整理科目を設けて経理の整理をし、現金及び預金出納簿を備え、全ての経理内容を記入するものとする。

第5条 会長は、決算報告書について、監事の監査を受けた後、これを評議員会に提出しなければならない。

第6条 各高等学校は、毎年5月31日までに、加盟費を納入するものとする。

加盟費内訳

①各高等学校生徒数に以下の金額を乗じたもの

(全日制生徒)	350円
(定時制、特別支援学校高等部生徒)	50円

②各学校の学級数に100円を乗じたもの。(定時制、特別支援学校は除く)

第7条 この規程の執行に関し必要な事項は、会長が定める

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[事務局規程]

昭和62年4月1日制定
昭和62年7月14日改正
平成23年5月6日改正

第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、事務局の運営に関し必要事項を定めるものとする。

第2条 事務局に次の職員を置く。

(1) 事務局長
(2) 事務局員 ア 事務局次長 イ 総務係 ウ 会計係

第3条 事務局長は、会長の命を受け、事務局の事務を統括する。

第4条 事務局次長は、事務局長を補佐する。

第5条 事務局総務係は、事務局長の命を受け、総務・企画・文書等に関する事項を分掌する。

第6条 事務局員会計係は、事務局長の命を受け、会計に関する事項を分掌する。

第7条 事務局の会計に関する規程その他事務処理上必要な諸規程は、別に定める。

第8条 その他事務局の細目的事項は、会長が別に定める。

第9条 会長が命令する出張等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

山口県高等学校文化連盟表彰規程

昭和62年4月1日制定
昭和62年7月14日改正
平成元年4月1日改正
平成2年4月1日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成15年4月1日改正
平成18年4月1日改正
平成24年5月11日改正
平成25年5月10日改正

第1条 山口県高等学校文化連盟規約第4条6号に基づく表彰規程を次のように定める。

(表彰の種類)

第2条 本規程に基づく表彰は、次のとおりとする。

(1) 文化功労賞

(2) その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの

(文化功労賞)

第3条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、当該年度の卒業予定者を対象として授与する。

第4条 受賞人員は在籍生徒数120名に対し1名の割合を原則とする。

第5条 本賞の受賞者の選考は、当該学校に一任する。

第6条 本賞の受賞者の選考基準は、次のとおりとする。

(1) 人格、識見共に優秀と認める者

(2) 芸術文化活動歴が優秀である者、ただし、その活動は学校の内外を問わない。

第7条 各学校は、受賞者を決定し、別記様式(1)により、本連盟事務局あて報告するものとする。

第8条 本賞の授与は、卒業式に関する行事に際し、施行することを原則とする。

(その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの)

(優秀芸術文化賞)

第9条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、14部門において、全国大会等で特に優秀な成績をおさめたと認められた個人並びに団体を対象とする。

(功績賞)

第10条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、長年にわたり本連盟の発展に寄与した者を対象とする。表彰は退職する年度または退職後に行う。ただし、専門部理事長を3期6年勤めた者は退任時に表彰することができる。

(優秀指導者賞)

第11条 本賞は、第10条功績賞対象者のうち、全国高等学校総合文化祭表彰規定により表彰された部の指導を行った者を対象とする。

第12条 第9条、第10条、第11条の授賞については、高文連企画運営委員会に諮り、これを決定する。
本賞の授与は県総文祭の総合開会式で行うことを原則とする。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

山口県高等学校文化連盟旅費支給基準

[旅費支給基準]

昭和62年4月1日制定
昭和63年4月1日制定
平成元年4月1日制定
平成11年4月1日改正
平成13年4月1日改正
平成16年4月1日改正
平成22年4月1日改正

第1条 会長が招集する会議等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

第2条 県総文祭の運営に関する旅費は、委託された主管校から山口県旅費規程に準じて支給する。

第3条 全国高等学校総合文化祭に関する旅費は引率教員は山口県旅費規程に準じて支給する。

生徒は、〔交通費実費（学割・団体割引）+宿泊費（大会規定料金）×2泊〕×1/3とする。

※新幹線のみで100km以上の場合は特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）

※在来線で100km以上の場合は急行または特急指定料金を含む。（ただし県内は除く）

[調整基金細則規程]

第1条 規約第4条の事業を円滑に遂行し、財務の健全化を図るため調整基金を設ける。

第2条 調整基金の額は、年度予算に計上して積み立てるものとする。

第3条 調整基金に属する現金は、金融機関への預金等最も確実な方法により保管するものとする。

第4条 調整基金は、事業執行上の財源が著しく不足する場合において、当該不足分を補うための財源に充てるときに限り、評議員会の決議によりこれを処分することができる。

附 則

1 この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

2 この細則の施行前の調整基金については、この細則による執行とみなす。

平成24年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職名	氏名	支部・専門部	所属校	
会長 副会長	松井誠 松根健治 中村芳喜 花田崇		山口中央高 中国高 関西高 慶進高	
参考与 支部長	川野あきら 松根正治 藤澤信司 浅原柳德 藤原山防 井山夫 時中勇 中村善 垣謙喜	岩国支 柳井支 井山支 防宇支 山防支 宇下支 北閏支 長長支	山口高 高國井 柳山府 德防宇 宇下萩 下萩關 萩西高	
専門部会長	時光善 松井良 牛見正 時佐善 松根知 (休藤高 福時高 河中永 栗中善 松林正 松井敏和 松井誠	演劇部 器樂部 合奏部 吹奏部 マーチングバンド・バトンツーリング部 日本音楽部 詠歌部 美書道部 書写真部 将棋部 放送部 芸術部 自然学科	宇下門 野門 宇門 山門 岩門 (柳門 長門 新門 宇門 南門 下門 周門 南門 山門 口門	高南 高園 高鴻 高城 高國 休井 府陽 南部 南部 南總 周總 西商 中山 中央
専門部理事長	新竹伸 飯田幸 田中睦 志道資 内田博 木(休)良 木(休)江 木(演)佳 木(演)津 木(木)江 木(木)利 木(木)弘 木(木)明 木(木)和 木(木)洋 木(木)治 木(木)子	演劇部 器樂部 合奏部 吹奏部 マーチングバンド・バトンツーリング部 日本音楽部 詠歌部 美書道部 書写真部 将棋部 放送部 芸術部 自然学科	宇下門 野門 宇門 山門 岩門 (柳門 長門 新門 宇門 南門 下門 周門 南門 山門 口門	高南 高園 高鴻 高城 高國 休井 府陽 南部 南部 南總 周總 西商 中山 中央
監事	植山村 中村龍	榮夫	防府商工・防府商業高校 西京高	
事務局長 事務局次長 事務局員(総務) 事務局員(会計)	西村正邦 細川浩隆 大田和子 境谷公美		山口中央高 山口中央高 山口中央高 山口中央高	

全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定
向川栄美作詞
乗松美紀作曲



1. てをのはせばほら きっとだれかがささえてくれる
2. よびかければほら きっとだれかがこたえてくれる



みーわたせーば ほらなかまがいつでもそばにいる きみ
こころをひらけば ほらなかまがいつでもまっている きみ



はひとりじゃない さある きだそう
はひとりじゃない さあは ばたこう



ぼくらのぶんかを つくるため一に
ぼくらのぶんかを きずくため一に

一、手を伸ばせばほら
きっと誰かが支えてくれる
仲間がいつでもそばにいる
見渡せばほら
君は一人じゃない
さあ歩きだそう
僕等の文化を創るために

二、呼びかけばほら
きっと誰かが応えてくれる
心を開けばほら
仲間はいつでも待っている
君は一人じゃない
さあ翔こう
僕等の文化を築くために

全国高文連の歌

山口県高等学校文化連盟
「高文連」編集委員

(各部門)

演 剧	新 竹 伸 芳	(宇部高等学校)
器 樂・管弦樂	飯 田 幸 生	(下関南高等学校)
合 唱	田 中 瞳	(野田学園高等学校)
吹 奏 樂	志 道 博 資	(宇部高等学校)
マーチングバンド・ バトントワリング	内 田 良 一	(山口県鴻城高等学校)
日 本 音 樂	木 坂 佳津江	(岩国高等学校)
美 術・工芸	濱 崎 洋	(柳井高等学校)
書 道	梶 山 美智子	(長府高等学校)
写 真	尾 崎 勝 利	(新南陽高等学校)
囲 暮	栗 林 浩 治	(宇部高等学校)
将 棋	尾 崎 明 弘	(下関西高等学校)
放 送	田 中 和 良	(周南総合支援学校)
文 芸	國 嶋 洋 治	(徳山商工高等学校)
自 然 科 学	大 田 和 子	(山口中央高等学校)
事 務 局 長	西 村 正 浩	(山口中央高等学校)
事 務 局 次 長	細 川 邦 隆	(山口中央高等学校)
事 務 局 員(総務)	大 田 和 子	(山口中央高等学校)
事 務 局 員(会計)	境 谷 公 美	(山口中央高等学校)



平成24年度
山口県高等学校文化連盟集録
「高 文 連」

編集・発行 山口県高等学校文化連盟事務局
〒753-0043 山口市宮島町6-1
山口県立山口中央高等学校内
電話 083-922-0032
FAX 083-932-0813

表紙デザイン／長 田 咲 耶
(山口中央高校2年)

